

令和4年度(令和3年度対象)
教育に関する事務の点検及び評価報告書

令和4年9月
今治市教育委員会

目 次

	ページ
はじめに	1
今治市教育大綱	2
令和3年度 今治市教育委員会の活動実績	4
令和3年度 今治市教育委員会の一般方針	7

事務事業の点検・評価表

1 新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に 寄与する新しい学校教育の推進

① 総合的な学習の時間の授業実践	10
② 授業支援ソフトウェア等の導入	12
③ 多様なオンライン学習授業の実践	14
④ ICT機器・ソフトに関する研修会開催	16
⑤ ICT支援員配備	18
⑥ 指導者用デジタル教科書導入	20
⑦ 語学指導外国青年招致事業	22
⑧ 国際人材育成事業	24

2 誰一人取り残すことのない学びの実現

① スクールカウンセラー配置	26
② スクールソーシャルワーカー配置	28
③ ハートなんでも相談員配置	30
④ 教育相談	32
⑤ 教育支援委員会	34
⑥ 登校促進事業	36
⑦ 校内サポートルーム設置	38

3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備

① 校内 ICT 環境改善	40
② 校舎の大規模改修・長寿命化対策	42
③ 空調設備整備	44
④ 屋外環境整備	46
⑤ 情報通信機器整備	48
⑥ 校務支援システム運用・管理	50
⑦ 教育研究所運営	52
⑧ 学校の適正配置	55
⑨ 学校防災教育実践モデル地域研究事業	57

⑩	社会教育施設整備事業	59
4 「i.i.imabari!」教育 version (郷育(きょういく)) の推進		
①	地域人を地域で活かす給食の推進	61
②	地産地消と食育の推進事業	63
③	学校給食業務の衛生管理対策	65
④	調理場の改修・長寿命化対策	67
⑤	小学校における副教材等による海事教育の推進事業	69
⑥	キャリア教育推進事業	71
⑦	学校運営協議会の設置	73
⑧	今治市教育研究所研究指定	75
⑨	日本遺産魅力発信推進事業	77
⑩	文化財保護事業費	79
⑪	埋蔵文化財調査事業費	81
5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備		
①	文化振興事業	83
②	生涯学習振興事業	85
③	社会体育事業	87
④	少年スポーツ振興事業	89
⑤	スポーツ協会補助金	91
⑥	東京 2020 オリンピックホストタウン推進事業	93
⑦	企画展等開催事業	95
⑧	公民館活動推進事業	101
⑨	公民館事業推進委託事業	103
⑩	公民館運営審議会委員委嘱	105
⑪	図書館管理運営事業	107
⑫	ブックスタート事業	109
⑬	家庭教育支援事業	111
⑭	愛護班活動推進事業	113
⑮	婦人教育支援事業	115
⑯	放課後子ども教室推進事業	117
⑰	人権教育事業	119
⑱	愛・野球博開催費	121
⑲	地域スポーツ振興事業	123
⑳	東京 2020 オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	125
㉑	今治シティマラソン	127
㉒	スポーツ大会開催補助金	129

はじめに

平成 19 年 6 月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成 20 年 4 月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することになりました。

また、教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、下記の方々にご意見、ご助言をいただきました。

(敬称略)

役 職 名	氏 名
今治明德短期大学 准教授	相澤 みゆき
今治市 P T A 連合会 会長	八木 正史
今治市男女共同参画審議会 副会長	長野 好文

そして、今治市教育委員会は、法の趣旨に則り、教育行政の推進と住民への説明責任を果たしていくため、「教育に関する事務の点検及び評価報告書」をまとめました。

今治市教育大綱

今治市では、令和3年10月、総合教育会議において「子どもが真ん中で輝くやさしいまち“今治”～豊かな心と生きる力を育む～」を基本理念とする「今治市教育大綱」が策定されました。

（重点方針1） 新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進

新学習指導要領に基づき、ICTを最大限に活用するなど、「特色ある教育」を展開する中で、「確かな学力」「豊かな人間性」「たくましい心と体」を育成し、子どもたちの「生きる力」を育みます。

（重点方針2） 誰一人取り残すことのない学びの実現

経済的理由等により就学困難な子どもや、障がいのある子ども、不登校の子ども、多様な性自認に悩む子どもなど、特別な配慮を必要とする子どもが増加する中で、誰一人取り残すことなく、一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばし、社会の担い手となれるよう、学校・家庭・地域・関係団体が連携を密にし、心と体の居場所の提供や学習支援を図ります。

（重点方針3） 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備

学校施設は子どもたちが一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、災害時には地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、その安全性の確保に努めるとともに、新時代の学びを支える教育環境の充実を図ります。社会教育施設等についても、安全で快適な教育環境を整えていきます。

(重点方針4) 「i.i.imabari!」教育 version (郷育) の推進

みんなで今治を盛り上げ、つい夢中になってしまうような今治の魅力を、広く世界に発信する「i.i.imabari!」キャンペーン。教育分野においても、今治の溢れる魅力を身近に感じてもらえる施策を展開し、ふるさと今治を愛し、今治に夢と誇りを持ち、今治に夢中になる人の輪を広げていきます。

(重点方針5) 人生100年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備

人生100年時代を迎え、老若男女だれもが文化芸術、スポーツ活動などに親しむことで、自分の可能性を開花させることができるとともに、大きな社会変革を乗り越え、豊かさを次世代に引き継ぐために、みんなが考え、行動することに喜びを感じられるまちづくりを展開していきます。

令和3年度 今治市教育委員会の活動実績

1 委員の就任状況

(1) 令和3年4月1日～令和4年3月25日

区 分	氏 名	任期満了年月日	摘 要
教育長	田坂 敏	令和5年2月28日	
教育長職務代理者	山本 泰正	令和7年3月8日	
委員	越智 一博	令和6年3月9日	委員退任 令和4年2月21日
委員	西原 梨乃	令和4年3月25日	委員退任 令和4年3月25日
委員	仁志川 由香里	令和5年3月26日	

(2) 令和4年3月26日～

区 分	氏 名	任期満了年月日	摘 要
教育長	田坂 敏	令和5年2月28日	
教育長職務代理者	山本 泰正	令和7年3月8日	
委員	長井 俊朗	令和6年3月9日	委員就任 令和4年3月26日
委員	仁志川 由香里	令和5年3月26日	
委員	竹田 美和	令和8年3月25日	委員就任 令和4年3月26日

2 教育委員会の会議等開催状況

会議

毎月1回定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催しました。

(1) 令和3年度の会議開催状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会						1						2	3
計	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	3	15

(2) 令和3年度の議案等の付議状況

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
教育長報告	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
議案		7	8	5	1	3	1	1	3	2	3	9	43
協議事項	1	4	1	1	1	1	2		4	3	4		22
計	2	12	10	7	3	5	4	2	8	6	8	10	77

3 その他の活動

(1) 委員研修会等への参加

○令和3年度四国都市教育長連絡協議会総会

日時 令和3年4月28日(水)

場所 書面開催

参加者 教育長

○第72回全国都市教育長協議会定期総会 (延期)

○令和3年度愛媛県市町教育委員会連合会理事会

日時 令和3年6月25日(金)

場所 書面開催

参加者 教育長、委員1名

○令和3年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会

日時 令和3年8月31日(火)

場所 書面開催

参加者 教育長、委員4名

(2) 学校訪問等の実施

○4月 入学式

参加者 教育長、委員4名

○5月～6月 学校訪問 小学校26校、中学校15校

参加者 教育長、委員4名

○3月 卒業式

参加者 教育長、委員2名

令和3年度 今治市教育委員会の一般方針

1 評価の対象

今治市教育振興に関する大綱に基づく五つの重点方針のうち、令和3年度に実施した下記の事業について点検・評価しました。

2 評価の方法

事業担当課が、事務事業の点検・評価を行い、それを教育委員会に諮り、教育委員の意見を踏まえて総合評価を行いました。また、点検・評価の客観性を確保するため、学識経験を有する方々から、ご意見をいただきました。

重点方針	事務事業名	担当課
1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進	① 総合的な学習の時間の授業実践	学校教育課
	② 授業支援ソフトウェア等の導入	学校教育課
	③ 多様なオンライン学習授業の実践	学校教育課
	④ ICT機器・ソフトに関する研修会開催	教育大綱推進課 学校教育課
	⑤ ICT支援員配備	教育大綱推進課
	⑥ 指導者用デジタル教科書導入	教育大綱推進課 学校教育課
	⑦ 語学指導外国青年招致事業	教育大綱推進課
	⑧ 国際人材育成事業	教育大綱推進課
2 誰一人取り残すことのない学びの実現	① スクールカウンセラー配置	学校教育課
	② スクールソーシャルワーカー配置	学校教育課
	③ ハートなんでも相談員配置	学校教育課
	④ 教育相談	学校教育課
	⑤ 教育支援委員会	学校教育課
	⑥ 登校促進事業	教育大綱推進課 学校教育課
	⑦ 校内サポートルーム設置	学校教育課

重点方針	事務事業名	担当課
3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備	① 校内 ICT 環境改善	教育大綱推進課
	② 校舎の大規模改修・長寿命化対策	教育大綱推進課
	③ 空調設備整備	教育大綱推進課
	④ 屋外環境整備	教育大綱推進課
	⑤ 情報通信機器整備	教育大綱推進課
	⑥ 校務支援システム運用・管理	教育大綱推進課 学校教育課
	⑦ 教育研究所運営	学校教育課
	⑧ 学校の適正配置	教育大綱推進課
	⑨ 学校防災教育実践モデル地域研究事業	学校教育課
	⑩ 社会教育施設整備事業	生涯学習課
4 「i.i.imabari!」教育 version (郷育(きょういく)) の推進	① 地域人を地域で活かす給食	学校給食課
	② 地産地消と食育の推進	学校給食課
	③ 学校給食業務の衛生管理対策	学校給食課
	④ 調理場の改修・長寿命化対策	学校給食課
	⑤ 小学校における副教材等による海事教育の推進事業	学校教育課
	⑥ キャリア教育推進事業	生涯学習課
	⑦ 学校運営協議会の設置	学校教育課
	⑧ 今治市教育研究所研究指定	学校教育課
	⑨ 日本遺産魅力発信推進事業	文化振興課
	⑩ 文化財保護事業費	文化振興課
	⑪ 埋蔵文化財調査事業費	文化振興課

重点方針	事務事業名	担当課
5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備	① 文化振興事業	文化振興課
	② 生涯学習振興事業	生涯学習課
	③ 社会体育事業	スポーツ振興課
	④ 少年スポーツ振興事業	スポーツ振興課
	⑤ スポーツ協会補助金	スポーツ振興課
	⑥ 東京 2020 オリンピックホストタウン推進事業	スポーツ振興課
	⑦ 企画展等開催事業	文化振興課
	⑧ 公民館活動推進事業	生涯学習課
	⑨ 公民館事業推進委託事業	生涯学習課
	⑩ 公民館運営審議会委員委嘱	生涯学習課
	⑪ 図書館管理運営事業	生涯学習課
	⑫ ブックスタート事業	生涯学習課
	⑬ 家庭教育支援事業	生涯学習課
	⑭ 愛護班活動推進事業	生涯学習課
	⑮ 婦人教育支援事業	生涯学習課
	⑯ 放課後子ども教室推進事業	生涯学習課
	⑰ 人権教育事業	生涯学習課
	⑱ 愛・野球博開催費	スポーツ振興課
	⑲ 地域スポーツ振興事業	スポーツ振興課
	⑳ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	スポーツ振興課
	㉑ 今治シティマラソン	スポーツ振興課
	㉒ スポーツ大会開催補助金	スポーツ振興課

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代（Society5.0）を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	① 総合的な学習の時間の授業実践	担当課	学校教育課	
事業の概要 （目標）	変化の激しい社会に対応して、探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成する。			
取組実績	市内小中学校がそれぞれの学校の実態を踏まえて、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題や地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などを設定し、その課題に対して探究的な学習に取り組んだ。			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度全国学力学習状況調査質問紙「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の問いに、本紙児童生徒の肯定的回答率 80.6%（全国平均 73%）。 ・各学校は特色ある教育活動や創意工夫した授業を実践しており、児童・生徒の学習意欲や学び方の向上につながっている。体験的な学習や協同的な学習、探求的な学習を通して、学習に対して主体的に取り組む姿勢や情報収集・活用能力、友達と関わる力などを身に付けることができている。 			
金額	R3 予算額	—	R3 決算額	—
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>今後は、各学校独自のカリキュラムに加え、市内全小中学校が共通の学習内容を10時間程度設定し、今治のすばらしさや今治の特色を学ばせることで、子どもたちに郷土愛、今治への誇りをもたせる今治モデル「ふるさとキャリア教育」を新たに実施する。</p>			

【学識経験者の意見】

・多様な情報を活用して協働的に学ぶ総合的な学習の時間での取り組みにおいて、肯定的な回答が全国平均より高く、先生方がそれぞれの学校や児童生徒の実態を踏まえ授業を実践し、児童生徒は授業を通して意見交換を行うことによって互いを知り、考えが深まり、主体的に学ぶ姿になったのではないのでしょうか。これからの社会を担う子どもたちが、自己の生き方を考えていくためにも「ふるさとキャリア教育」の実現に向けてよろしくをお願いします。

・情報を収集し取舍選択をして答えを導く事は、その過程で個人の能力、考え方が現れてきますので、今後の諸活動に対する対応力を育む為の学習はとても大切だと思います。郷土愛を高める「ふるさとキャリア教育」については、重点方針4の事業⑤等と関連づけるなどして実践していただきたいと思います。

・最近、知識の詰め込みでなく、生きる力となる現実に対する探究心や知恵が求められています。総合的な学習により、その力が養われると感じます。児童生徒の受け止めも全国平均を上回る実感があるのは、評価できると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	② 授業支援ソフトウェア等の導入	担当課	学校教育課	
事業の概要 (目標)	「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業づくりに有効性のある授業支援ソフトウェア等を導入する。			
取組実績	情報や情報手段を主体的に選択し、活用していくための情報活用能力や情報倫理を身に付け、ICTを最大限に活用することで、新たな時代 (Society5.0) を切り拓いていくことができる子どもたちの資質・能力の育成を目指すため、授業支援ソフトウェアであるロイロノートを導入した。各校1名を対象に研修会を実施し、さらに、各校でロイロノートの研修を深めることで、各教員の技能を深めることができた。			
目標達成状況	どの学校でもロイロノートを活用した共同学習の実践に取り組めており、各校で情報教育主任を中心に「主体的・対話的で深い学び」を目標にした授業実践が行われている。			
金額	R3 予算額	27,830 千円	R3 決算額 27,830 千円	
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	学校間、教員間の練度の差を埋めるため、研修会を通して各校の先進事例の共有化をはかっていきたい。			

【学識経験者の意見】

・授業支援ソフト「ロイロノート」の導入により、教員と生徒、生徒間での双方向授業が可能となり、さらには、写真や動画等を使って各々の意見をまとめ発表できたり、子どもの思考が可視化され、主体的・対話的で深い学びの手助けとなったのではないかと考えます。きめ細かい指導・支援、教師自身の成長を見据えた活用を今後もよろしくお願いします。

・有意義に活用するための研修を充実させ、これまでの授業との融合、さらには進化した授業を期待します。

・授業支援ソフトウェアは、大変便利ではありますが、その使い方を習熟するのに得て不得手の先生もいるし、生徒もソフトウェア自体でつまづく可能性があるのではないかと思います。便利なツールですので、大いに利用していくべきですが、それだけに頼るのも危険ではないかと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	③ 多様なオンライン学習授業の実践	担当課	学校教育課	
事業の概要 (目標)	各学校において、オンライン通信を活用して、「県外の学校との交流」「海外との交流」「不登校対策」など多様な授業を実践し、他校にも拡充していく。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2学期より、タブレットの持ち帰り、及び、オンライン授業の実践を各校で実施した。さらに、新型コロナウイルスで休校になったり、自宅待機を強いられた児童・生徒に対して、オンラインを活用して授業を行うことができた。 ・ また、Zoom や Skype を活用して、アメリカに帰国した ALT と授業を行うなどの実践を行った。 ・ 不登校で別室に待機している生徒に対して、Google Meet を利用して、授業の中継を視聴したりして学習に取り組むことができるように支援を行った。 			
目標達成状況	各校でオンライン授業の実践を行っていくことにより、新型コロナウイルスでの休校時や自宅待機時に有効に活用することができた。また、ALT の先生方と海外での通信を行うことで、世界に視野を広げる体験を行うことができた。			
金額	R3 予算額	—	R3 決算額	—
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	オンライン授業の実施実績は学校間に差があるので、各校で実践事例を共有化することにより、学校間の差をなくす取り組みを行っていききたい。			

【学識経験者の意見】

・多様なオンラインを活用することで、教師がより児童生徒に寄り添い質の高い教育が可能になります。距離にかかわらず相互に情報の発信・受信のやりとりができることで多様な人々とのつながり、また、個々の児童生徒の状況に応じた対応が可能になることで子どもの学習の幅が広がり、かつ教科等の学びが深まります。学校間の格差をなくし、幅広く質の高い教育の実現を願います。

・普段からオンライン授業を実践する事で、緊急時にも対応できると思われます。導入初期の為、充実したあたりまえの活用には時間が必要かと思いますが、目的に向かって実践していただければと思います。

・コロナ禍でいろいろと活動に制限がある中、オンライン授業は大いに役に立ったと思います。また、今までしたことのないような、海外と繋いだ学習は、思わぬ成果ではないかと思ひます。

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	④ ICT機器・ソフトに関する研修会開催	担当課	教育大綱推進課・ 学校教育課	
事業の概要 (目標)	授業支援ソフトや導入機器に関する操作研修会を開催し、教職員のICTスキルの向上を図る。			
取組実績	タブレット端末管理・基礎操作研修 (2回 29人受講) Google Workspace for Education コア研修 (3回 69人受講) タブレットドリル操作研修 (3回 49人受講) 授業支援ソフトウェア (ロイロ) 操作研修 (4回 131人受講) 愛媛新聞 for スタディ操作研修 (3回 53人受講) 電子黒板操作研修 (2回 49人受講)			
目標達成状況	タブレット端末の基本的な管理・操作研修から導入ソフトウェアの運用・操作などの研修を受講することで、教職員のICTスキルの向上が図られICTを活用した授業をスタートさせることができた。			
金額	R3 予算額	—	R3 決算額 —	
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	新規採用者や他市から異動してきた教員に向けた研修を令和4年度も引き続き行いたい。			

【学識経験者の意見】

- ・デジタルトランスフォーメーション（DX）人材の発掘から養成、活用、インセンティブ向上に向けて、来年以降もよろしく申し上げます。
- ・研修後、授業での活用実績を検証し、フィードバックできる仕組みを ICT 支援員と共に構築できれば良いと思います。
- ・ICT機器・ソフトの活用は大変効率的で有効な手段だと思います。ただ、それを使いこなすのに苦労があると思います。先生方の研修はどうしても必要であり、今後の効率的教育のための投資と考える必要があると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	⑤ ICT支援員配備	担当課	教育大綱推進課	
事業の概要 (目標)	ICT支援員5名を配備し、各小中学校におけるICT活用授業の支援を行う。			
取組実績	<p>第2学期より各校へのICT支援員配備を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1校あたり月平均2.5回の訪問 ・コミュニケーションを重視し、担当校を取り決め。 ・業務範囲 <p>授業支援：ICTを活用した授業において授業進行のための支援を行う。 教員研修：ハードウェア・ソフトウェア操作研修等を行う。 校務支援：校務で使用するソフトウェア操作に関する支援を行う。 障害対応：障害時において1次的な原因切り分け作業等を行う。</p>			
目標達成状況	授業支援、ICTを活用した授業・ハードウェアの操作方法・ソフトウェアの使用方法など幅広い支援を行い、教員の負担軽減につながると共に、質の高い授業を行うことができた。			
金額	R3 予算額	21,900 千円	R3 決算額	16,918 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	各教員のスキル向上や、全体のボトムアップのための研修会などを開催していきたい。			

【学識経験者の意見】

- ・ ICT を活用した授業等を円滑に行うための支援やサポート体制は重要です。④同様に DX 人材の育成・確保・向上を図ることにより質の高い幅広い学習環境の提供を願っています。
- ・ 1 校あたりの月平均訪問回数が予算面と取り組み実績の内容から妥当かどうかはわかりませんが、導入初期ですので早く浸透させる取り組みを進めていただきたいと思います。
- ・ 子どもを教える先生の資質と、ICTに通じているのとは違う面があるかと思っています。ICTはあくまで教育の補助ツールですので、先生方にICTの専門性を求めることはできないと思います。しかもICTは日々専門性を増しています。支援員配備には、それだけの意義があると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	⑥ 指導者用デジタル教科書導入	担当課	教育大綱推進課・ 学校教育課	
事業の概要 (目標)	指導者用デジタル教科書を導入する。 小 算数 1～6 年生、理科 3～6 年生、外国語 5～6 年生 中 英語・数学 1～3 年生			
取組実績	第 2 学期よりクラウド配信型の指導者用デジタル教科書の導入を行った。 小 算数 1～6 年生、理科 3～6 年生、外国語 5～6 年生 中 英語・数学 1～3 年生			
目標達成状況	別途導入したタブレット端末、電子黒板と組み合わせることにより、デジタル教科書特有の写真や動画を活用した「より深い学び」の環境を提供することができた。			
金額	R3 予算額	9,219 千円	R3 決算額 8,339 千円	
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	主要 5 教科すべてを導入するよう要求していく。			

【学識経験者の意見】

・これまでの教育実績に加えデジタル教科書の導入により、児童生徒の学習の進捗・習熟の程度や学習の過程を把握でき、一人一人に合わせたきめ細やかな指導、さらには、教師と児童生徒のみならず児童生徒間の協働学習の視点からもより効果的な学習活動が可能になります。また、教師の教材準備や黒板への板書の時間を削減し、児童生徒に向か合う時間を増やす利点もあります。今後の幅広い活用により教科書、デジタルを適切に組み合わせた豊かな学びにつながると思います。

・導入によっての実際指導者側のメリット、デメリットと今後の課題をどのように感じているのかを気軽に相談できる等、現場側の不安や負担を軽減できる仕組みづくりを構築してもらいたいと思います。

・先生方には、いかにデジタルを活用できるかを考えてもらうことが大切だと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	⑦ 語学指導外国青年招致事業	担当課	教育大綱推進課・ 学校教育課	
事業の概要 (目標)	グローバル化が進む現代社会において、多様な人々との関わりや様々な経験を積み重ね、他国の人々とも協働するための英語等の語学力やコミュニケーション能力、異文化への理解力、日本人としてのアイデンティティなどを培っていくことが求められている。小学校英語教育の教科化等を踏まえ、小学生にとっては、ALTと触れ合うことにより、早い段階より、外国人とのコミュニケーションをもつ機会となり、英語教育の一層の充実を図る。また中学生にとっては、外国語学習において生きた英語に触れ、使える英語の習得など、学習意欲の向上につなげていく。			
取組実績	<p>・市が雇用するALTが、市内全小中学校 41 校を分担して外国語教育を実施している。児童生徒にネイティブな英語に触れる機会を提供するとともに、児童生徒にとって外国の風習・文化などを知る貴重な機会となっている。(ALTとは、Assistant Language Teacher の略で、主として教育委員会、小中学校に配属され、外国語担当教員等の助手として語学指導を行う者のこと。)</p> <p>・4月は10名のALTを雇用し、計画の14名には満たない配置数で市内小中学校に派遣し外国語教育を進めていたが、7月末で契約が終了したALTが帰国し、8月から雇用予定であった新規ALTが、新型コロナウイルス感染症の影響で来日ができなくなった。そのため、通常14名体制のところ8月以降は8名体制となった。各校への派遣回数は若干減ってしまうが、8名で市内全41校を分担し、全ての学校へALTを派遣できるようにALTの配置を工夫し事業を継続した。11月に4名のALTを派遣し12名で市内41校を分担した。</p>			
目標達成状況	<p>・小中学校での外国語活動や英語の授業において、異文化や実際のネイティブ・スピーカーの発音に触れることにより、生きた英語の知識や技能を体験し、コミュニケーション能力の育成や授業の充実を図ることにつながった。</p> <p>・8月以降はそれまでのような取組にはならなかったが、ALTの協力を得ながらできる限りの取組は継続できた。</p>			
金額	R3 予算額	73,066 千円	R3 決算額	56,251 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	令和3年度も、新型コロナウイルスの影響で本来計画していた派遣人数は確保できなかった。しかし、現在派遣されているALTを、1校あたりの派遣回数は減ったものの、全ての学校にまんべんなく派遣することができ、児童生徒はネイティブな英語に触れることができた。ICT機器が整備されたことで、今後はオンラインによる海外との交流の機会を増やし、英語教育の充実を図っていく。			

【学識経験者の意見】

・この度の学習指導要領の改訂に伴い外国語教育がさらに重視されました。「聞く」「読む」「話す」「書く」ことの力を総合的に育むためにはALTの存在は欠かせません。新型コロナウイルスの影響で安定したALTの雇用は困難かと思いますが、ICTを効果的に活用することで、確かな学力の定着に向けさらなる充実をよろしくお願いします。

・ALTは子ども達にとって一番身近な外国人であり、異文化や外国語に触れることのできる貴重な存在です。地元で生活しながら国際社会で活躍する人材の育成を推進する為に、有意義な事業であると思います。

・科学技術が発達して、リモート会議などで世界と繋がっていても、対面での会話とは異質なものを感じます。コロナ禍で、なかなか難しい面もあろうかと思いますが、人と人が相対して感じとれることは大変重要なものがあります。リモートでできるからといってこの取り組みが必要なくなるものではないと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	1 新たな時代 (Society5.0) を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進			
事業名	⑧ 国際人材育成事業	担当課	教育大綱推進課・ 学校教育課	
事業の概要 (目標)	市内の中学生、教員等を海外に派遣し、国際化と国際理解教育に対応できる人材の育成を図る。			
取組実績	新型コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、令和3年度事業は中止とした。			
目標達成状況	旅行会社からの聞取り、外務省ホームページ閲覧などを何度も行い現地の状況を中心に情報収集を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、入国制限解除も見込めないことから、令和3年度今治市中学生海外派遣事業実行委員会に諮り中止となった。			
金額	R3 予算額	9,400 千円	R3 決算額	0 円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input checked="" type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	来年度以降も社会情勢を見ながら参加する中学生、教員等の負担にならない方法を検討し、事業を実施していきたい。			

【学識経験者の意見】

・昨今の社会情勢を受け事業は中止となりましたが、目標達成に向けて可能な方法を模索しながら国際化と国際理解教育に対応できる人材の育成を今後もよろしくお願いします。

・事業自体は社会情勢に大きく影響を受けておりますが、バーチャルでの海外派遣体験などにより学ぶ方法もあるのかもしれませんが。

・明治維新において、新しい日本の姿を具体的にイメージできたのは、海外視察した人々だったと思います。海外のその国に立って初めてわかるものがあるようです。

海外の街並みを紹介するテレビ等もありますが、やはり現地でしかわからない、その国の空気、におい、雰囲気によって、より鮮明に未来が見えてくるように思います。多額のお金がかかりますが、無駄ではないと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	2 誰一人取り残すことのない学びの実現			
事業名	①スクールカウンセラー配置	担当課	学校教育課	
事業の概要 (目標)	<p>・小中学校に、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者等をスクールカウンセラーまたはスクールカウンセラーに準ずる者として配置し、教育相談体制の充実を図る。</p>			
取組実績	<p>・スクールカウンセラー 9名(中学校12校)</p> <p>・公認心理師、臨床心理士、精神科医、大学教員(S C)、大学(短期大学)を卒業した者で、心理臨床業務または児童生徒を対象とした相談業務に5年以上の経験を有する相談員が、児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者に対する支援・助言を行った。</p>			
目標達成状況	<p>・配置している中学校だけでなく、校区内の小学校にもスクールカウンセラーを派遣し、相談活動を充実させたことで、いじめの未然防止等に一定の成果が上がっていると考えている。今後も、子どもの心に寄り添い、丁寧に話を聴き、子どもと信頼関係を築いていくためにも、カウンセリング技能向上の研修や相談員と学校との情報共有の場の設定を進めていく必要がある。</p>			
金額	R3 予算額	—	R3 決算額	—
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>・全ての子どもたちに適切な相談活動の場が保障されることは大変重要なことである。今後も、スクールカウンセラーと小中学校が連絡を密に取りながら、児童生徒一人一人に向き合い問題解決に当たるとともに、児童生徒、保護者、関係機関との連携を深めていきたい。</p>			

【学識経験者の意見】

・いじめの深刻化や不登校児童生徒の増加に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う様々な影響により児童生徒の心の在り様と、様々な問題が生じていることと推測いたします。心の専門家としてのスクールカウンセラーによる心のケアの役割は重要になります。スクールカウンセラーの質の向上と、各学校や教育委員会、スクールカウンセラーは日頃から意思疎通を図り、お互いの理解を深めていくなかで児童生徒のサポートをお願いします。

・心理の専門分野から子どもとの信頼関係を築き、子どもと親の心のケアに努めて頂きたいと思いますが、スクールソーシャルワーカーとハートなんでも相談員、学校との連携は不可欠かと思えます。各分野ともご理解されていると思いますが、決して置き去りにならないよう配慮をお願いします。

・コロナ禍で精神的不安定要素が増えているように思います。まじめな子どもほど勉強をしないといけないと焦り、自分で解決できなくなるのではないのでしょうか。専門家のちょっとしたアドバイスがあれば抜け出せるようなことも、一人では堂々巡りになることが多々あります。

事務事業の点検・評価表

重点方針	2 誰一人取り残すことのない学びの実現			
事業名	②スクールソーシャルワーカー配置	担当課	学校教育課	
事業の概要 (目標)	<p>・いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など、問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境へ働きかけたり、関係機関とのネットワークを活用して援助を行ったりして課題解決を図る。</p>			
取組実績	<p>・スクールソーシャルワーカー 4名（小学校5校、中学校3校、適応指導教室1）</p> <p>・福祉機関や地域の支援員・相談員とのネットワークを活用して、問題を抱える児童生徒の支援を行った。</p> <p>・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整。学校内におけるチーム体制の構築・支援、さらに、保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供、教職員等への研修活動を行った。</p>			
目標達成状況	<p>・小中学校にスクールソーシャルワーカーを派遣し、相談活動を充実させたことで、いじめの未然防止等に一定の成果が上がっていると考えている。また、今治市適応指導教室に配置したことで、すべての小中学校から相談しやすい環境となっている。今後も、子どもの心に寄り添い、丁寧に話を聴き、子どもと信頼関係を築いていくためにも、カウンセリング技能向上の研修や相談員と学校との情報共有の場の設定を進めていく必要がある。</p>			
金額	R3 予算額	1,643 千円	R3 決算額	1,643 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>・全ての子どもたちに適切な相談活動の場が保障されることは大変重要なことである。今後も、児童生徒一人一人に向き合い問題解決に当たるとともに、児童生徒、保護者、関係機関との連携を深めていきたい。</p>			

【学識経験者の意見】

・子どもが置かれている環境がますます複雑化するなか、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーを活用し、問題を抱えた子どもに対し環境へ働きかけたり、関係機関とのネットワークを活用し問題を抱えた子どもたちをサポートする体制を、今後も続けていただきたいと切に願います。

・福祉の専門分野から各所との連携をとって子どもとの信頼関係の構築をお願いしたいと思います。

・学校で対応しないといけない問題が年々増加しています。予算的な問題もあるでしょうが、それぞれの専門家の配置はどうしても必要になってきています。

事務事業の点検・評価表

重点方針	2 誰一人取り残すことのない学びの実現			
事業名	③ハートなんでも相談員配置	担当課	学校教育課	
事業の概要 (目標)	<p>・小中学校に、児童生徒や保護者、教員等が気軽になんでも相談できる相談員を配置し、学校の相談体制の充実や地域と学校との連携強化を図ることにより、不登校や問題行動などの早期発見・未然防止に努める。</p>			
取組実績	<p>・ハートなんでも相談員 27名（小学校25校、中学校2校）</p> <p>・児童生徒・保護者・教職員に対して相談活動を行った。</p> <p>・地域と学校の連携を図るための支援や、その他学校の教育活動に関する支援を行った。</p>			
目標達成状況	<p>・ほぼ全ての小学校にハートなんでも相談員を配置し、相談活動を充実させたことで、不登校の改善や問題行動防止等に一定の成果が上がっていると考えている。今後も、子どもの心に寄り添い、丁寧に話を聴き、子どもや保護者と信頼関係を築いていくためにも、相談員と学校との情報共有の場の設定を進めていく必要がある。</p>			
金額	R3 予算額	5,040 千円	R3 決算額	5,040 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>・子どもだけでなく、保護者にも適切な相談活動の場が保障されることは大変重要なことである。今後も、児童生徒一人一人に向き合い問題解決に当たるとともに、児童生徒、保護者、関係機関との連携を深めていきたい。</p>			

【学識経験者の意見】

・教育相談体制の充実のため、ハートなんでも相談員を配置し、一人一人に向き合い問題解決していくことで、不登校などの未然防止や早期発見につながっていることと思います。今後は、児童虐待への対応等も含めて子ども、保護者、関係機関との連携を深めていただきたいと思います。

・児童生徒・保護者・教職員の相談窓口として、できれば全ての小中学校に相談員が配置されるべきなのかもしれません。それによって、諸問題解決の初動が均一化することによる各所への負担が軽減される可能性があると思います。

・子どもの問題行動などは、保護者も一緒になって対応していかないといけないものが多くあります。先生方は、授業だけでなく保護者とも向き合わなければならないのは大変だと思います。相談員の確保が望まれます。

事務事業の点検・評価表

重点方針	2 誰一人取り残すことのない学びの実現			
事業名	④ 教育相談	担当課	学校教育課	
事業の概要 (目標)	・ 7月下旬から来年度の就学予定児童を対象に就学に関する相談を行う。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育相談数 160件 ・ 就学に不安や悩みを抱える幼児・児童・生徒の保護者を対象に教育相談を実施し、適切な就学支援を行う。 ・ 7月末の3日間、各相談希望の保護者の相談に1時間程度乗り、就学についての支援を行った。 ・ 相談員は、各小中学校の特別支援学級担任教員、特別支援学校教員等で、専門的な知識を生かして、保護者の相談に乗った。 			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 就学に不安や悩みを抱えている保護者の相談に乗ることにより、保護者の不安を和らげ、スムーズな就学支援に繋がっている。 ・ 就学先の学校への情報提供にもなり、就学前の支援体制を整えることができた。 ・ 令和2年度に比べ、30件程度相談件数が増えている。今後は、更に相談希望者が増えると予想されるので、保護者の相談に丁寧に対応しながら、時間調整をおこなっていきたい。 			
金額	R3 予算額	—	R3 決算額	—
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	・ 相談者が増加傾向にある。コロナ禍での感染症対策も含め、教育相談日程や相談時間等を検討していきたい。			

【学識経験者の意見】

- ・就学に不安や悩みを抱える保護者を支援することで保護者の不安が和らぎ、それが子どものスムーズな就学になっていることがわかりました。今後は、支援の情報の共有・活用のさらなる充実を図り、スムーズな切れ目のない支援体制を整備し、不安や悩みを抱える親子のサポート体制づくりを願っています。
- ・相談者が増加しているということで、引き続き保護者に寄り添い、信頼関係の構築をお願いすると共に安心感の提供をお願いします。
- ・相談件数の増加が顕著なようです。教育支援委員会との連携を取りながらの対応が必要ではないでしょうか。

事務事業の点検・評価表

重点方針	2 誰一人取り残すことのない学びの実現			
事業名	⑤教育支援委員会		担当課	学校教育課
事業の概要 (目標)	・ 8月、12月の2回、来年度就学について審議し、就学先への判断をする。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今治市教育支援委員会の委員 30名。 ・ 特別支援教育に関する知識・経験を有する教員、専門医、児童福祉に関する行政関係の職員等から構成される今治市教育支援委員会を設置している。 ・ 年2回今治市教育支援委員会を開催し、教育相談での幼児・児童・生徒や各校から特別支援学級入級と判断された児童生徒について適切な就学先を協議する。 			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今治市教育支援委員会を開き、対象幼児・児童・生徒の就学支援について協議をすることで、適切な就学等を支援することに繋がっている。 ・ 特別支援教育に関する知識・経験を有する教員だけでなく、専門医、児童福祉に関する行政関係の職員からも多様な視点から情報提供があり、多方面からの支援ができるようになった。 			
金額	R3 予算額	—	R3 決算額	—
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	・ 教育相談数が年々増加傾向にあり、協議の件数も増えている。協議にかなりの時間を費やすようになっている。そのため、今後は、現状に添った適切な審議体制を整えていく必要がある。			

【学識経験者の意見】

・子どもの一人一人の教育的ニーズに応じた支援がなされいることがわかりました。保護者と専門家、関係機関、教育委員会の連携のもと支援の担い手を多層化し、今後も全ての子どもの「学びの場」を保障していただきたいと思います。

・専門家の方々が情報を共有し、客観的で多様な視点から協議していただいている今の体制が理想ですが、相談件数の増加に伴う協議時間の増加の課題は早急に解決すべきことであると思います。

・年2回の開催のようですが、相談件数も増えているようですので、少人数の委員でも必要に応じた検討会を随時開催し、必要な支援をすることが求められます。

事務事業の点検・評価表

重点方針	2 誰一人取り残すことのない学びの実現			
事業名	⑥登校促進事業	担当課	教育大綱推進課・ 学校教育課	
事業の概要 (目標)	<p>・適応指導教室「コスモスの家」での活動により、不登校児童生徒の学校復帰を目指した取組を行う。相談員としての専門的知識・技術を用いて、児童生徒や保護者等の相談に応じたり、関係機関とのネットワークを活用して、学校と連携して児童生徒への支援に当たる。「いじめ相談ホットライン」を平成 21 年度より開始し、いじめ問題について悩みを抱える子どもや保護者の相談に電話で対応する。</p>			
取組実績	<p>・適応指導教室「コスモスの家」 在籍者数 16 名（小学校 4 名、中学校 12 名） 心の居場所、コミュニケーションづくりの場所、自信回復の場所として、不登校児童生徒が、再登校や進学・就職など自立することを目指して、常勤 2 名とボランティアスタッフ 4 名が教育相談や適応指導を行った。</p> <p>・いじめ相談ホットライン 平日の 8 時 30 分から 22 時までの間、電話と SNS によっていじめ問題等に関する相談を受けた。</p>			
目標達成状況	<p>・適応指導教室で活動したことにより、不登校児童生徒が再登校したり、希望する学校に進学または就職したりするなど、一定の成果が上がっていると考えている。今後も、子どもや保護者の話を丁寧に聴き、信頼関係を築いていくためにも、相談員と学校との情報共有の場を設けていく必要がある。</p> <p>・いじめ相談ホットラインでは、子どもの学校生活の様子に悩む保護者の訴えや学校での人間関係に悩む子どもの思いを受け、アドバイスをすることができた。子どもや保護者がいつでもどこからでも相談できる選択肢の一つとして意義があると思う。少しずつではあるが、成果が出てきており、今後も粘り強く取り組んでいきたい。</p>			
金額	R3 予算額	8,211 千円	R3 決算額	7,905 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	<p>・学校に登校できない子どもたちに心の居場所やコミュニケーションづくりの場所、自信回復の場所を提供できることは大変重要なことである。今後も、児童生徒一人一人に向き合い問題解決に当たるとともに、児童生徒、保護者、関係機関との連携を深めていきたい。</p>			

【学識経験者の意見】

・変化の激しい社会に加え新型コロナウイルス感染症という新たな困難に見舞われ、子どもを取り巻く社会はますます複雑多様化し、対応も複雑かつ困難化していると思います。児童生徒のSOSをいち早くキャッチし、児童生徒自身を見守りつつ、様々な専門スタッフと連携し、組織的な支援体制のもときめ細やかで手厚い支援を願います。

・十分な成果があるということで貴重な事業であると考えます。施設が学校との距離があるため、他の事業との情報共有を密に行い、様々な相談のできる選択肢の一つとして幅広く活動していただきたいと思います。

・集団生活の苦手な子ども、友達にいじめられやすい子どもなど、いろいろな子どもがいることを前提に、その子どもに合った環境づくりは大切です。

事務事業の点検・評価表

重点方針	2 誰一人取り残すことのない学びの実現		
事業名	⑦校内サポートルーム設置	担当課	学校教育課
事業の概要 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> モデル校を指定し、サポートルームを校内に設置することで、不登校又はその傾向にある生徒への支援に特化した取組を推進する。 		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 登校ナビゲーター(1名)、ICT支援員(1名)。 学級担任や登校ナビゲーターが本人、保護者と面談し、校内サポートルームの利用も選択肢の一つとして紹介し、校内サポートルームへの登校を始めるきっかけとすることができた。学習や活動の内容を決める際には、本人の意志を尊重しながら決めるようにし、内容を確認後、相談しながら変更して活動に取り組むよう支援した。 校内サポートルームを利用している生徒に対して、希望により授業の録画視聴や、オンライン視聴で学習に取り組むこともできるようにした。また、教科担任が校内サポートルームで学習相談を行ったり、質問に答えたりするなどの学習指導を行った。 		
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 専任の教員(登校ナビゲーター)がいることで、「いつでも登校することができる場所がある」ということが生徒にとっての安心感につながり、少しずつ登校できる生徒が増えてきた。 昨年度まで不登校であった生徒が、11月から校内サポートルームへの登校を始め、欠席することなく登校する等、自分の意思で登校することができるようになってきた生徒もいる。また時間に関係なく生徒の状況に応じて家庭訪問を行い、一緒に登校したり、メールを活用してつながりをつくったりするなど柔軟に対応することができ、個に応じたペースで支援を行うことができた。 		
金額	R3 予算額	1,032 千円	R3 決算額 1,032 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/> 一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/> 成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> 空き教室の状況にもよるが、サポートルームの教室の確保と不登校等児童生徒が安心して学べる環境整備を行うとともに、通いやすい雰囲気づくりに努める必要がある。 登校ナビゲーターには、児童生徒からも教職員からも信頼の厚い人を選ぶべきであるが、教員の中から選び、サポートルームに常駐させるだけの人的余裕がない。 		

【学識経験者の意見】

・不登校又はその傾向にある生徒が、いつでも登校でき、また、学内でつらくなった時にいつでも行けて安心できる場所が学内にあることは、居場所が確保されただけでなく、成長できる場でもあると考えます。人材確保、環境整備等、さらなる支援体制の充実をお願いします。

・サポートルームの教室確保と登校ナビゲーターの人选に課題があるようですが、活用する生徒にとっては人生を左右する場所なのかもしれません。柔軟な対応を含めて推進していただきたいと思います。

・教室の確保、人員の確保などいろいろな問題があると思います。少しずつでも大勢の子どもと一緒に学べる配慮は欠かせません。少しずつ成果は見えているようです。大変でしょうが続けてほしいです。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	① 校内ICT環境改善	担当課	教育大綱推進課	
事業の概要 (目標)	ネット環境改善ならびに大型提示装置配備（小1～小4・中2～3、理科室 計 270台）			
取組実績	<p>インターネット回線の速度改善により、クラウド型システムの活用等が大きく進んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書 ・授業支援ソフト・ドリルソフト ・えひめICT学習支援システム（CBT） ・ICT教育専用ウェブサイト（愛媛新聞 for スタディ） ・TV会議システム（遠隔集会・遠隔授業・学校間交流など） <p>大型提示装置の導入により、指導者用デジタル教科書の活用や授業支援ソフトを使った協働学習などが行われるようになった。</p>			
目標達成状況	<p>インターネット回線の切替を行い、第2学期より通信環境が大きく改善された。 大型提示装置を予定通り導入した。</p> <p>※R02 小学校5・6年、中学校1年 計 97 台配備済み</p>			
金額	R3 予算額	161,294 千円	R3 決算額	152,885 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	特別支援学級等への大型提示装置導入			

【学識経験者の意見】

- ・ ICT 環境の技術革新は目覚ましく Society5.0 の時代に生きる児童生徒にとって多様なオンライン学習環境の整備は重要です。全ての子どもを対象にした学びの保障のためにも特別支援学級等への大型提示装置の導入もよろしくをお願いします。
- ・ 現在求められている ICT 関連の環境を整備する事で、よりスムーズで充実した ICT 教育が実現できると思います。有意義な ICT 教育の実践に向けて有効に活用して頂きたいと思います。
- ・ I C Tを活用した授業に取り組んでいるようですので、I C T環境の整備は不可欠なものと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	② 校舎の大規模改修・長寿命化対策	担当課	教育大綱推進課	
事業の概要 (目標)	屋上・屋根及び外壁の健全度の低い学校から順に大規模改修・長寿命化を行う。これにより、老朽化した建物の耐久性を高め、致命的な損傷の発現を防ぐことで、児童等の安全を確保する上で望ましい教育環境の整備を図る。			
取組実績	<p>令和3年度においては、次の通り近見小学校の改修工事（Ⅱ期）を行った。</p> <p>○施工内容 建具改修、外壁改修、屋上防水改修、防火シャッター改修、トイレ洋式化</p>			
目標達成状況	上記の改修工事を行うことで、老朽化した建物の耐久性を高め、致命的な損傷の発現を防ぐことで、児童等の安全を確保する上で望ましい教育環境の整備に資することができた。			
金額	R3 予算額	92,400 千円	R3 決算額	84,482 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>今後も次の通り各小中学校の大規模改修・長寿命化を行っていく。</p> <p>R 4～R 5：乃万小学校</p> <p>R 5～R 6：清水小学校</p>			

【学識経験者の意見】

・計画していた改修工事が終えたことに感謝します。安全安心があつての学校生活の充実です。また、近年、災害が激甚化・頻発化しており、学校施設は災害時に地域住民の避難所等にもなります。児童生徒の学びを支え保障する安全で快適な教育環境の確保のため、定期的な点検、改修と、よりよい教育の実現に向けて環境整備も今後お願いします。

・空調設備や校内 ICT 環境改善等の整備費用との支出のバランスをとりながら必要な教育環境整備を図っていただきたいと思います。

・校舎の大規模改修・長寿命化については、計画的に順次実施しているようです。引き続き実施していただきたいと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	③ 空調設備整備	担当課	教育大綱推進課	
事業の概要 (目標)	児童数・生徒数の変動により学級数が増加した普通教室に空調設備を追加整備する。これにより、健康的で快適な学習環境を維持し、児童生徒等の健康を保護する上で望ましい教育環境の整備を図る。			
取組実績	<p>令和3年度においては、次の通り空調設備を設置した。</p> <p>○小学校 別宮小（1年生・1教室） 乃万小（1年生・1教室、6年生・1教室）</p> <p>○中学校 立花中（1年生・1教室） 南中（特別支援・1教室）</p>			
目標達成状況	上記の改修工事を行うことで、健康的で快適な学習環境を維持し、児童生徒等の健康を保護する上で望ましい教育環境の整備に資することができた。			
金額	R3 予算額	(小学校費)16,600 千円 (中学校費)29,800 千円	R3 決算額	(小学校費)7,688 千円 (中学校費)6,336 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>今後も学級数が増加した場合は追加整備を進める。また、学校・PTA からの要望が高い特別教室（理科室、音楽室）への空調設備設置を進めていく。</p> <p>R 4 : 設計 R 5～R 6 : 施工</p>			

【学識経験者の意見】

- ・重点方針3の事業②同様に、全ての子どもの安全で快適な学習環境の整備を今後もお願いします。
- ・特別教室については使用頻度の割合から優先順位が低いように感じますが、外的要因を解決することで児童生徒においてはストレス無く学ぶ事ができると思います。
- ・異常気象による、異常な暑さが続いています。今後も異常な暑さが起こることは十分考えられます。予算の確保に努めていただくようお願いします。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	④ 屋外環境整備工事	担当課	教育大綱推進課	
事業の概要 (目標)	経年劣化した屋外にある施設及び設備の改修を行うことにより、施設及び設備の安全性を高め、望ましい教育環境の整備を図る。			
取組実績	<p>令和3年度においては、次の通り屋外環境整備工事を行った。</p> <p>○中学校 西中学校駐輪場改修工事</p>			
目標達成状況	上記の改修工事を行うことで、施設及び設備の安全性を高め、望ましい教育環境の整備に資することができた。			
金額	R3 予算額	12,800 千円	R3 決算額	11,943 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>今後も次の通り各小中学校の屋外環境整備を行っていく</p> <p>ブロック塀の安全対策：R4 大三島小・大西小</p> <p>防球ネット改修：R4 日吉中</p>			

【学識経験者の意見】

- ・重点方針3の事業②③同様に。屋内外の環境整備、定期的な点検・改修を今後もよろしく願います。
- ・屋外環境整備については、優先順位を検討していただいた上で順次進めていただきたいと思います。
- ・学校の老朽化した施設はまだ残っていると思います。外壁の落下による負傷などはあってはなりません。数が多いので、一度には改善できないと思いますが、南海・東南海地震への備えが急がれています。予算の確保に努めていただければと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	⑤ 情報通信機器整備	担当課	教育大綱推進課	
事業の概要 (目標)	通信環境の整っていない家庭に対する貸与を目的として、情報通信機器の整備を行う。			
取組実績	<p>情報通信機器の購入を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入台数 1,110台 ・執行額 12,088千円 ・財源 <ul style="list-style-type: none"> ①公立学校情報機器整備費補助金 11,100千円 ②新型コロナ臨時交付金 988千円 			
目標達成状況	予定数通りの情報通信機器の購入を行うことができた。			
金額	R3予算額	15,900千円	R3決算額 12,088千円	
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	通信費の確保			

【学識経験者の意見】

- ・新型コロナウイルス感染症により、家庭での学びの保障、また、緊急時としての機器や環境整備が早急に必要になりました。全ての子どもの ICT 環境が整備されたことに感謝いたします。
- ・使用状況による通信費の確保が課題ですが、どのくらいの費用が必要になるのか見当がつかず、全体把握を含めて関係者での客観的な協議が必要かと思えます。
- ・コロナ禍で、リモート授業が必須となった状況では、やむを得ない措置であろうと思えます。補助金等の活用もされ、適正な対応であると考えます。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	⑥ 校務支援システム運用・管理	担当課	教育大綱推進課・ 学校教育課	
事業の概要 (目標)	教職員の事務処理の平準化・効率化を図るために導入した『校務支援システム』を安全に運用できるよう、システム保守及び運用支援業務を行う。			
取組実績	平成29年度導入(テスト稼働) 平成30年度本稼働 令和元年度サーバー環境更新			
目標達成状況	問題なく運用することができた。			
金額	R3 予算額	13,597 千円	R3 決算額	13,596 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	いろいろな使用方法について情報を共有化するため、随時研修会を実施する。			

【学識経験者の意見】

・GIGA スクール構想に伴い、教職員の ICT 環境の整備や、教員の業務負担軽減に向けた校務のデジタル化は重要です。今後予定している研修会等で、さらなる効率化を図っていただきたいと思います。

・システムが導入されてから数年が経ち、事務処理の平準化と効率化が図られているのであれば特に問題は無いように思われるが、現場での使用にあたっての課題があれば速やかに解決できるような形を常に持っておいていただきたい。

・校務支援システムの導入は、学校事務の効率化に大変役立っていると思います。そんななか、システムの安全性については、問題なく運用されているとどうしても忘れがちになりますが、問題が起きると業務が停止してしまうぐらいの影響があります。普段からシステム保守の必要性やシステムの安全性には配慮が必要だと思います。それには予算が伴いますので、無駄と思わず、当たり前にかかす費用だとの位置づけがいると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備																																																									
事業名	⑦ 教育研究所運営	担当課	学校教育課																																																							
事業の概要 (目標)	研究校や教科等主任会、研究グループ等を研究指定し、各教科・各分野での実践研究及び研究発表を行うことにより、教育の振興、充実を図る。																																																									
取組実績	<p>・新学習指導要領の全面実施に伴い、理論に基づいた実践研究をより一層充実させるため、前年度までの研究テーマ「確かな学びを保障するカリキュラムの開発と授業の創造」を見直し、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業の創造」とした。</p> <p>・学校、教科等主任会等より希望のあった小学校7校、中学校4校、4つの教科等主任会、1つのグループ、個人1を研究指定し、愛媛大学教育学部との共同研究を進めた。最新の理論に裏付けされた実践により、教師の指導力の向上と児童生徒の確かな学力の定着を図った。</p> <p style="text-align: center;">〈令和3年度研究指定〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 20%;">主任会名等</th> <th style="width: 20%;">世話係校、教科等</th> <th style="width: 10%;">推進体制</th> <th style="width: 45%;">研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>小中学校社会 科主任会</td> <td>北郷中学校</td> <td>主任会</td> <td>よりよい社会を志向する子どもを育てる社会科学習</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>小中学校算数・ 数学科主任会</td> <td>別宮小学校</td> <td>主任会</td> <td>数学的な見方・考え方を働かせて主体的に問題を解決していく児童・生徒の育成</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>小中学校理科 主任会</td> <td>近見中学校</td> <td>主任会</td> <td>自然や人と主体的に関わり、科学的に探求する能力や態度を育てる理科教育の在り方の研究</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>小中学校保健 体育科主任会</td> <td>立花中学校</td> <td>主任会</td> <td>愛顔いっぱいの子どもを育てる保健体育科学習</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>乃万小学校</td> <td>理科、生活科</td> <td>学校</td> <td>共に挑み、感動する中で、生きる力を育む授業の工夫</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>朝倉小学校</td> <td>防災教育</td> <td>学校</td> <td>自他の命を守り、主体的に行動する児童を育てるための防災・減災教育の在り方</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td>吉海小学校</td> <td>コミュニティ・スクール</td> <td>学校</td> <td>地域とともにある学校づくりを目指して</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td>宮窪小学校</td> <td>コミュニティ・スクール</td> <td>学校</td> <td>地域とともにある学校づくりを目指して</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td>伯方小学校</td> <td>人権・同和教育</td> <td>学校</td> <td>心豊かに生活する児童の育成</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td>上浦小学校</td> <td>コミュニティ・スクール</td> <td>学校</td> <td>地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究</td> </tr> </tbody> </table>				主任会名等	世話係校、教科等	推進体制	研究テーマ	1	小中学校社会 科主任会	北郷中学校	主任会	よりよい社会を志向する子どもを育てる社会科学習	2	小中学校算数・ 数学科主任会	別宮小学校	主任会	数学的な見方・考え方を働かせて主体的に問題を解決していく児童・生徒の育成	3	小中学校理科 主任会	近見中学校	主任会	自然や人と主体的に関わり、科学的に探求する能力や態度を育てる理科教育の在り方の研究	4	小中学校保健 体育科主任会	立花中学校	主任会	愛顔いっぱいの子どもを育てる保健体育科学習	5	乃万小学校	理科、生活科	学校	共に挑み、感動する中で、生きる力を育む授業の工夫	6	朝倉小学校	防災教育	学校	自他の命を守り、主体的に行動する児童を育てるための防災・減災教育の在り方	7	吉海小学校	コミュニティ・スクール	学校	地域とともにある学校づくりを目指して	8	宮窪小学校	コミュニティ・スクール	学校	地域とともにある学校づくりを目指して	9	伯方小学校	人権・同和教育	学校	心豊かに生活する児童の育成	10	上浦小学校	コミュニティ・スクール	学校	地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究
	主任会名等	世話係校、教科等	推進体制	研究テーマ																																																						
1	小中学校社会 科主任会	北郷中学校	主任会	よりよい社会を志向する子どもを育てる社会科学習																																																						
2	小中学校算数・ 数学科主任会	別宮小学校	主任会	数学的な見方・考え方を働かせて主体的に問題を解決していく児童・生徒の育成																																																						
3	小中学校理科 主任会	近見中学校	主任会	自然や人と主体的に関わり、科学的に探求する能力や態度を育てる理科教育の在り方の研究																																																						
4	小中学校保健 体育科主任会	立花中学校	主任会	愛顔いっぱいの子どもを育てる保健体育科学習																																																						
5	乃万小学校	理科、生活科	学校	共に挑み、感動する中で、生きる力を育む授業の工夫																																																						
6	朝倉小学校	防災教育	学校	自他の命を守り、主体的に行動する児童を育てるための防災・減災教育の在り方																																																						
7	吉海小学校	コミュニティ・スクール	学校	地域とともにある学校づくりを目指して																																																						
8	宮窪小学校	コミュニティ・スクール	学校	地域とともにある学校づくりを目指して																																																						
9	伯方小学校	人権・同和教育	学校	心豊かに生活する児童の育成																																																						
10	上浦小学校	コミュニティ・スクール	学校	地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究																																																						

	11	大三島小学校	コミュニティ・スクール	学校	ひと・もの・ことへのかかわりを基盤としたコミュニティ・スクールの活用を通したふるさと学習の推進
	12	朝倉中学校	防災教育	学校	自他の命を守り、主体的に行動する生徒を育てるための防災・減災教育の在り方
	13	大島中学校	コミュニティ・スクール	学校	地域とともにある学校づくりを目指して
	14	伯方中学校	人権・同和教育	学校	人権問題に対する正しい認識と感性を身に付け、互いの人権を尊重する生徒の育成
	15	大三島中学校	コミュニティ・スクール	学校	地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究
	16	鳥生小学校	音楽科	グループ	「自声」を育てる歌唱授業
	17	鳥生小学校	特別支援教育	個人	児童の特性に合わせた学習内容や支援の在り方
目標達成状況	<p>・教育研究所研究指定事業では、愛媛大学教育学部との共同研究により、学校現場における実践を大学と共有することができ、様々な教科、領域、分野にわたり実践研究が大学の理論に基づいた充実したものとなっている。「研究報告書(第40集)」としてまとめ、令和4年2月に発行し、教職員一人一人に配布することによって、多様な研究成果を共有することができた。</p> <p>・令和4年2月16日に「今治市教育研究所・上島町教育研究所合同研究発表大会」を開催し、今治市立上浦小学校の「コミュニティ・スクールの在り方」、小学校音楽科研究グループによる「『自声』を育てる歌唱授業」、上島町立魚島小・中学校の「ICTを活用した確かな学力の育成」の3つの研究発表の後、愛媛大学教育学部の井上洋一教授よりご助言をいただき、研究の成果を共有するとともに、今後の研究の方向性を示すことができた。</p>				
金額	R3 予算額	1,550 千円		R3 決算額	1,020 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった		<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった		<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>・大型提示装置や1人1台端末等のICT機器の整備に伴い、学力向上につながるICTの効果的な活用について、教科指導の面からも研究を進めていく必要がある。</p> <p>・学力向上をはじめ、コミュニティ・スクール、キャリア教育、小中連携、人権・同和教育、防災教育など、様々な教育課題に対して継続した研究を行い、さらに、愛媛大学教育学部との連携を深めていくことが課題である。</p>				

【学識経験者の意見】

・新学習指導要領の全面実施に伴い、理論に基づいたさまざまな教科、領域、分野にわたり実践研究が行われたことがわかりました。今後のGIGAスクール構想に基づく学校、多様な視点からの学びの研究に期待いたします。また、新型コロナウイルス感染症の対応をしながらも研究報告書をまとめ研究成果を共有された先生方の努力と成果に感謝いたします。

・先生方の指導力の向上と児童生徒の学力定着に向けての取り組みに大変評価します。課題にある様々な教育問題に関しては多岐にわたるものであり、全てを現場で対応することは困難であろうかと思われます。専門分野の機関や定年退職されご希望のある先生方に依頼する事も含めて継続的な研究を行っていただきたいと思います。

・研究テーマを決め、いろいろな実践研究を行い、情報共有をしているようです。いろいろな学校の実践を見ることは、ほかの学校も刺激になると思います。実践学校を参考にしながらも、工夫をして、自分の学校に合った運用の取り組みが必要だと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	⑧ 学校の適正配置	担当課	教育大綱推進課	
事業の概要 (目標)	平成 22 年に策定された今治市学校適正配置基本方針について、最新の数値及び統廃合の結果を追加し、適正な学校規模や配置の考え方や基準をまとめ、教育委員会と地域が協働して学校規模適正化の検討を進めていく。			
取組実績	今治市学校適正配置基本方針の児童生徒数予測等について、現時点での数値に修正し、対象地区の校長へ学校運営ヒアリングを実施した。また、基本方針に平成 22 年以降の小中学校の統廃合の状況、学校運営審議会、協議のスケジュール、協議見直しのプロセス、令和 3 年度以降の取組方針を追記した。			
目標達成状況	今治市学校適正配置基本方針については、作成以降見直しのなかった内容を修正した。学校のヒアリングについては、現状及び今後の課題等について聞き取りを行い、翌年度以降も引き続いて検討を進めていくための下準備を行った。			
金額	R3 予算額	—	R3 決算額	—
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題	保護者・地域・学校・教育委員会が、客観的な対話を重ねることにより、小中学校の小規模化や、学校統合による地域の課題を一つずつ検証し、子どもたちにとって最も望ましい結論を導けるよう、積極的な協力関係をつくる必要がある。			

【学識経験者の意見】

・各地域のコミュニティの核となり、教育の機会均等とその水準の維持向上を鑑みながら、“子どもたちにとって最も望ましい”という視点を重視した少子化に対応した学校づくりが整備されていくことを願っております。

・時代の流れの中で適正配置の検討は必要不可欠であると考えます。その検討の過程で未だ課題について、知恵を絞って解決には至らないまでもソフトランディングできるよう推進していただきたいです。

・適正な学校とはどんなものかということは、いろいろな意見があります。単に子どものためだけとか父兄のためだけでなく、個々のベストではなく全体ベターの考えが必要ではないでしょうか。適正配置は慎重にお願いします。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	⑨学校防災教育実践モデル地域研究事業	担当課	学校教育課	
事業の概要 (目標)	<p>・地域の特性に応じた防災教育を展開し、地域や関係機関との連携を促進することにより、学校安全に係る取組を地域が一体となって進める体制を構築する。</p>			
取組実績	<p>・小中学校が連携し、児童・生徒の内発的動機付けを高める実践的・体験的な活動や専門家による防災学習会を設定したり、地域や専門機関の助言を受けながら授業実践や体験活動や防災学習会などでの学びを生かした防災安全マップづくりなどに取り組んだ。</p> <p>・愛媛大学防災情報研究センターの副センター長にアドバイザーをお願いし、防災安全マップ作りや今治市防災教育推進連絡協議会で指導・助言をいただいた。</p>			
目標達成状況	<p>・防災安全マップ伝達会など学習した事項を発信する活動を通し、多様な視点から防災・減災について考えようとする姿勢を身に付け、自助・共助の力を発揮しようとする意欲を高めた。</p> <p>・拠点校の小中学校において事業実施前と実施後に防災教育に関する知識・技能、思考・判断、主体的に取り組む態度について問うアンケート調査を実施したところ、ほとんどの項目において実施後の肯定率が向上した。特に、知識・技能の項目において大幅な向上が見られた。アンケート結果から、児童・生徒の防災意識が向上したことだけでなく、学年間の意識の差が縮まり、全体的な防災意識の底上げができたことが伺える。</p>			
金額	R3 予算額	500 千円	R3 決算額	500 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	<p>・災害想定や予告の有無等、各校で様々な形の避難訓練を行った。いつ、どこで起こるか分からない災害に備えて、自分の命や身近な命を守れる児童・生徒を育てるため、学校では今後さらに様々な状況を想定した訓練を行う必要がある。</p> <p>・各学校での防災教育の取組を家庭や地域に発信しながら、さらに家庭や地域と連携した防災教育・実践を重ねる必要がある。</p>			

【学識経験者の意見】

- ・学校における防災教育は自然災害の様態に応じた具体的な行動に結びつく教育内容が求められます。今後も専門家による実践的で体験的な専門家による教育プログラムの実践を今後も続けていただきたいと思います。そして、全ての子どもが学べるよう、防災教育に携わる教員の育成も考えていただきたいと思います。
- ・災害時の現場対応力には当然のことながら個人差がありますが、命を守る事を目的として、対応力の底上げを目標に防災に関する様々な学びは、当然のことながら地道に継続していく必要があります。
- ・事業実施校のアンケートでも、知識・技能の大幅な向上が見られたようです。実践モデル地域を定め、点での取り組みが線となり面となることを期待します。

事務事業の点検・評価表

重点方針	3 安全安心と学びを充実させる教育環境の整備			
事業名	⑩ 社会教育施設整備事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・波方支所（公民館）耐震補強及び改修工事 19,162 千円 ・美須賀コミュニティプラザ受変電設備更新工事 1,738 千円 ・菊間支所（公民館）非常用発電装置取替工事 11,088 千円 ・朝倉公民館トイレ改修工事 5,885 千円 ・吉海学習交流館外 2 施設トイレ改修工事 10,832 千円 ・上浦開発総合センター外 2 施設トイレ改修工事 16,390 千円 ・別宮公民館外 1 施設トイレ改修工事 4,266 千円 			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・波方公民館への支所機能移転、耐震補強及び改修を行った。 ・美須賀コミュニティプラザの老朽化していた受変電設備を更新し、施設機能の保全を行った。 ・菊間支所（公民館）の老朽化していた非常用発電装置を取り換え、施設機能の保全を行った。 ・朝倉公民館、吉海学習交流館、上浦開発総合センター、別宮公民館等の和式トイレを洋式化し、利用者の利便性向上を図った。 			
目標達成状況	計画していた工事を実施することで、老朽化の進む施設の長寿命化が図られた。			
金額	R3 予算額	136,040 千円	R3 決算額	69,360 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	公民館等の社会教育施設は地域住民の生涯学習や交流の拠点であり、災害時には避難所としての役割を担うこともある。そのため、老朽化が進んでいる施設は耐震化や長寿命化により利用者の安全性を確保する必要がある。今後も概ね 3 年ごとに行う施設の定期点検結果などを参考に計画的に整備を行っていく予定である。			

【学識経験者の意見】

・公民館や社会教育施設は地域住民や子どもたちにとっては身近な学習拠点でもあり、災害時の避難所として重要な役割を果たす場所です。近年、その重要性を痛感するばかりです。計画していた工事の完了により耐震化や長寿命化が図られましたが、対象拠点以外の施設も併せて定期的な点検・保全を切に願います。

・地域住民の拠点となる社会教育施設の維持保全は、必要に応じて計画的に進めていただきたいと思います。予算額に対しての決算額が少ないようです。必要以上の事はできませんが地域住民の要望もより反映できるような取り組みもあってよいかと思います。

・社会教育施設は、生涯学習、災害時の避難場所等、地域の拠点施設です。人口の減少等で利用の頻度は少なくなっていますが、無駄の効用がある施設ですので、安全確保のための投資は今後も必要と思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i.i.imabari！」教育 version (郷育) の推進			
事業名	① 地域人を地域で活かす給食の推進	担当課	学校給食課	
事業の概要 (目標)	<p>・今治で活躍しているプロ料理人やシェフ（今治の味の鉄人）の力を借りて、今治地域食材を使った地域感あふれる、子供たちがあっと驚くような新たなメニューを創出し、学校給食として提供する。</p> <p>・素晴らしい自然環境に恵まれたふるさとの食材や他地域を含めた食文化を知ってもらうなど食育も実施しながら、郷土に愛着と誇りを持てる「日本一おいしい給食」の実現を目指す。</p>			
取組実績	<p>・今治で活躍するシェフに依頼し、新たな給食メニューを開発した。</p> <p style="padding-left: 20px;">【フランス給食】神原佳考シェフ</p> <p style="padding-left: 20px;">【イタリア給食】佐野大介シェフ</p> <p style="padding-left: 20px;">【中華給食】関英輔シェフ</p> <p>・10月から12月にかけて、上記3種類の給食を全校で提供した。</p> <p>・給食提供に合わせ、今治産食材や、料理の特色・歴史やマナーなど、シェフ自ら出演して解説する動画を作成して食育教材として活用するほか、地域の生産者にフォーカスしながら今回の活動をとりまとめた動画も作成し、HPにて公開することで市内外に向けてPRを行った。</p>			
目標達成状況	<p>・市内全校において、シェフが考案した3食の、子供たちの心に残る給食を提供することができた。</p> <p>・今治で生産される食材についてはもちろん、その料理の歴史や世界の食文化、地理に至るまで、新しいメニューをきっかけとして学習することができた。</p>			
金額	R3 予算額	2,400 千円	R3 決算額	1,165 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>・一過性のイベント的事業とならないよう、「日本一おいしい給食」の全体像、ストーリー展開をイメージしておくことが必要。</p> <p>・全国に向け大きくPRできるよう、より強力に発信する。</p>			

【学識経験者の意見】

・学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達を図るとともに、食に関する指導に活用することで栄養バランス、食事のマナー、食文化などを体験的に学ぶことができ、多様で高い教育的効果が期待できます。そのため、「日本一おいしい給食」を目指し努力されていることに感謝いたします。

・普段、何気なく頂いている給食に注目を集める事で子ども達だけではなく、地域人や調理に関わる方々においても大きな効果があるように思われます。今後の課題にあるように、一過性のイベント的事業とならないよう事業を進めて頂きたいと思います。

・給食は毎日食べるものですから、変化が必要です。地元の食材の理解もでき、また、地元の良さは他と比べることにより、新しい発見ができると思います。大変良い試みだと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i.i.imabari！」教育 version (郷育) の推進			
事業名	② 地産地消と食育の推進事業	担当課	学校給食課	
事業の概要 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産減農薬米等を購入するために必要な経費について補助金を交付することにより、地元産減農薬米等の使用を奨励し、地産地消を推進する。 ・地元産食材のみを使用する「今治ブランド給食リレー週間」を実施し、食育効果を高める。 			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食運営委員会が購入する地元産減農薬米等と県産米の差額について、全額補助した。 ・毎月第3週を「今治ブランド給食リレー週間」とし、市内 21 調理場が 1 日ずつ順番に、今治産の旬の食材（調味料と牛乳・乳製品以外）を使用して作った給食を提供した。 			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産減農薬米等による安心安全でおいしいご飯を提供することにより、児童生徒の健やかな成長を促すとともに、地産地消を推進することができた。 ・年間を通して地元産の新鮮な食材を提供することにより、児童生徒が季節ごとの地元の旬の食材を知り、地元の食材をより身近に感じることで、地域の優れた食文化を理解し大切に作る健全な心身を育む手助けとなった。 			
金額	R3 予算額	6,000 千円	R3 決算額	3,481 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>成長期にある児童生徒へ、地域の特性を生かした栄養バランスのとれた豊かな食事を提供し、心身の健康の増進と豊かな人間形成に資するため、世界情勢や異常気象等に伴う物価変動に柔軟に対応し、長期にわたって事業を継続していく必要がある。</p>			

【学識経験者の意見】

・本事業は、食育推進基本計画のなかの地方公共団体が取り組むべき施策としてその推進に努めるよう位置づけられています。地元産減農薬米による学校給食、「今治ブランド給食リレー週間」などの生きた教育は、郷土愛や食への関心、さらには、子どもたちの健全で文化的な心と体を育むことと思います。長い年月を経て形成された今治ならではの伝統ある優れた食文化の継承も考え合わせ、さらなる食育の充実を期待します。

・世界情勢により刻一刻と物価変動がある中での対応は想像以上に困難な状況ではないでしょうか。このような状況だからこそ、地産地消と食育の推進の為に補助をしている事を大きく前面にだし、当事者である子どもと保護者の理解を深めていただければよいと思います。

・旬でしかも取れたての食材は、なんといってもおいしく、しかも栄養価も高いと思います。地元の旬の食材を調達するのは、予算面だけでなくご苦勞があると思いますが、続けて欲しい取り組みです。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i.i.imabari！」教育 version (郷育) の推進			
事業名	③ 学校給食の衛生管理対策	担当課	学校給食課	
事業の概要 (目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食従事者に対する腸内細菌検査を実施するとともに、給食用食材に対する細菌検査、微生物検査及び理化学検査を実施し、安全安心な給食の提供につなげる。 			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学校給食従事者に対し、腸内細菌検査（赤痢・サルモネラ・O157）を年間24回(月2回、検体7,346)、ノロウイルス検査を年6回（10月～3月、検体1,866）実施した。 ・市内全21調理場において、食材細菌検査（大腸菌・サルモネラ菌等）及び理化学検査（農薬・食品添加物等）をそれぞれ1回ずつ実施した。 			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食センターにおいて、5月に複数の調理員がノロウイルスに感染したため、一時調理を停止し、代替食（弁当・非常食）に切り替えて食事を提供した。感染者に対しては、陰性が確認されるまで検査を実施したことで、調理場外への影響を防ぐことができた。 ・食材の衛生管理は確保されており、児童生徒の健康に影響を与えることなく給食を提供できた。 			
金額	R3 予算額	7,500 千円	R3 決算額	5,813 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への健康被害を防ぐことはもちろん、普段の給食提供にも影響を及ぼすことがないよう、全職員への意識啓発により再発防止に努める。 			

【学識経験者の意見】

- ・児童生徒に喜ばれるおいしく安全な給食の提供のため、大量調理における衛生管理の徹底をお願いします。
- ・学校給食従事者及び調理場における検査体制の充実と有事の際の対応を常に考慮して今後も対策を行っていただきたい。
- ・給食は何といても安全性が重要です。給食従事者や食材の検査は大変だと思いますが、児童生徒への健康被害は絶対あってはならないことです。日々の取り組みの大切さはなかなか他の人にはわかってもらえないところがありますが、頑張ってください。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i.i.imabari！」教育 version (郷育) の推進			
事業名	④ 調理場の改修・長寿命化対策	担当課	学校給食課	
事業の概要 (目標)	昭和 58 年の竣工から 39 年が経過し、老朽化した「学校給食センター」の改修工事を実施し、引き続き給食調理場として活用継続を図る。			
取組実績	小中学校が夏休みとなり、調理に影響しない 7・8 月中に、老朽化により剥がれ落ちた「学校給食センター」の壁・天井部分の塗装工事、排煙窓及びボイラー室の鉄製扉の改修を実施した。			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・内装塗装工事の実施により、調理場内の衛生管理を保つことができ、引き続き給食調理場としての活用が可能となり、安心安全な給食提供に繋げた。 ・また、調理場で勤務する関係職員の安全を確保した。 			
金額	R3 予算額	11,700 千円	R3 決算額	9,592 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	給食運営に支障を出さないために、老朽化が進んでいる他の調理場についても、計画的な改修が必要である。			

【学識経験者の意見】

・重点方針3の事業②③④同様に、安全安心があつての学校生活の充実です。児童生徒の学びを支え保障する安全で快適な教育環境の確保のため、定期的な点検、改修、環境整備も今後もお願いします。

・老朽化が進んでいる調理場について、工期も限られているのであれば早めの計画で改修を予定していただきたいです。剥がれ落ちてからでは少し遅いのではないのでしょうか。ハード面での職場環境（休憩室など）にも着目することで、衛生管理対策にもつながると思います。

・調理施設の老朽化は避けて通れません。対応しないと施設の寿命も縮みますが、何より衛生面での確保が難しくなります。計画的に改修をお願いします。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i.i.imabari!」教育 version (郷育(きょういく)) の推進		
事業名	⑤ 小学校における副教材等による海事教育の推進事業	担当課	学校教育課
事業の概要 (目標)	・(公)日本海事広報協会と市商工振興課と協力して、小学5年生向けの地方版児童用テキストを作成し授業で活用することで、児童の海事全般への関心を高める。		
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学5年生向けの地方版児童用テキストを作成。(R3～) ・第1回企画委員会開催(令和4年4月28日(木)) ・今治市立日高小学校と連携して、小学5年生向けの地方版児童用テキストを活用した授業案作りに着手した。(11月上旬授業公開予定) ・10月25日(火)に上記授業の事前体験学習として、今治市立日高小学校5年生が、今治造船(株)本社工場にて見学会を実施予定。 ・海事副教材贈呈式を8月2日(火)13時から庁議室で開催予定。 		
目標達成状況	・小学5年生向けの地方版児童用テキストを作成済み。		
金額	R3 予算額	—	R3 決算額
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>
今後の課題・改善内容	・「副教材を活用した海事教育の推進」をいかにして今治市全体に浸透させていくか。		

【学識経験者の意見】

- ・子どもたちの教育効果を高め、基礎的・基本的な学習の理解を助けるうえでは副教材の活用は重要です。本事業の教育効果を検証しながら計画的に教材整備が行われることを望みます。
- ・当事業は、郷土の産業の関心を高める先駆けとして評価します。早い段階で市内全体に広げ、海事のみならずタオル産業も同じように進めていただきたいです。それを継続する事で、長期的に郷土に誇りを持つ人材が増えると思います。
- ・今治市は、何ととっても造船の町、海事都市です。郷土愛を育むのにも役立つ取り組みだと思えます。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i.i.imabari!」教育 version (郷育(きょういく))の推進		
事業名	⑥ キャリア教育推進事業	担当課	生涯学習課
事業の概要 (目標)	子どもたちが将来の自分について考える機会を設け、また子どもたちが地域の大人と交流することで地域コミュニティの活性化を図る。		
取組実績	<p>講演を受けた地元企業等の地域の大人の協力のもとWSを開催し、子どもたちが地域の大人と交流するとともに、自分の将来について考える機会を提供した。</p> <p>【講演】</p> <p>○大人サポーター養成講座</p> <p style="padding-left: 2em;">目 的：キーパーソン21のキャリア教育プログラムを通し、子どもたちが自分発見するためのサポートをする力を身につける。</p> <p style="padding-left: 2em;">日 時：令和3年10月7日(木) 13:00~17:00</p> <p style="padding-left: 2em;">場 所：今治市役所第2別館11階特別会議室1号・2号</p> <p style="padding-left: 2em;">参加者：地域の大人 27人(市職員7人含む)</p> <p style="padding-left: 2em;">講 師：キーパーソン21</p> <p>【WS】</p> <p>○すきなもののビンゴ&お仕事マップ</p> <p style="padding-left: 2em;">目 的：自分のすきなものや大切に思うことが世の中の仕事とつながっていることに気づかせ、子どもたちの主体性を引き出す。</p> <p style="padding-left: 2em;">日 時：令和3年11月12日(金) 9:20~11:30</p> <p style="padding-left: 2em;">場 所：今治市立吹揚小学校 図工室及び音楽室</p> <p style="padding-left: 2em;">参加者：地域の大人 22人(市職員5人含む)</p> <p style="padding-left: 4em;">吹揚小学校6年生 62人</p> <p>○おもしろい仕事人がやってくる</p> <p style="padding-left: 2em;">目 的：社会で活躍する大人が、自分の人生や仕事についてありのままの言葉で語ることで、子どもたちは多様な生き方や価値観に触れ、自分の将来を想像し考えるきっかけを学ぶ。</p> <p style="padding-left: 2em;">日 時：令和3年11月12日(金) 13:35~14:20</p> <p style="padding-left: 2em;">場 所：今治市立吹揚小学校 体育館</p> <p style="padding-left: 2em;">参加者：吹揚小学校5・6年生 約130人</p> <p style="padding-left: 2em;">講 師：檜垣造船株式会社 御手洗 光貴</p>		

目標達成状況	WS に参加した児童について、今治が好きと答える児童の割合が 89%から 92%に増加した。			
金額	R3 予算額	2,400 千円	R3 決算額	1,548 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	生涯学習課（社会教育課）での取り組みは令和3年度で終了した。令和4年度からは学校教育課で「ふるさとキャリア教育」として実施していく。			

【学識経験者の意見】

・学校や地域の実情を踏まえつつ、地域とのつながりのなかで子どもたちが楽しくキャリア教育を受けることができていることは、子どもにとっても地域にとってもよい効果につながる取り組みです。学校と地域をつなぐコーディネーターと共に、社会的・職業的に自立し社会の中で自分らしい生き方を実現していけるように継続して行ってほしいと思います。

・子どもたちが地域の大人と交流する事は非常に大切ですが、実施にあたり「地域の大人」は市内企業の理解の上での参加を募る事になり、多くの時間を割くこととなります。今後は別の形の継続可能であろうキャリア教育を模索していただきたいです。

・何のために勉強しているのかわからないと意欲がわきません。実際の社会生活に触れることにより、勉強の動機づけにもなるのではないのでしょうか。その意味で、令和4年度から学校教育で取り組むのは、いいことだと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i. i .imabari!」教育 version (郷育(きょういく)) の推進																																																																														
事業名	⑦ 学校運営協議会の設置	担当課	学校教育課																																																																												
事業の概要 (目標)	令和4年度末までに、市内の小中学校すべてに学校運営協議会が設置されるよう研究・支援する。																																																																														
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールに関して、研究指定校（小学校4校、中学校2校）を設置した。 ・教頭研修会（令和3年12月3日） 市内小中学校の全ての教頭が参加し、学校運営協議会の運営と設置準備について協議した。 ・研究成果発表（令和4年2月16日） 上浦小学校「地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究ー地域の人・物・事とのかかわりを通じてー」 																																																																														
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度までに設置された学校運営協議会数 6校6協議会 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">学校運営協議会</th> <th style="width: 10%;">形態</th> <th style="width: 30%;">学校名</th> <th style="width: 20%;">設置年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今治市立常盤小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>常盤小</td> <td>H31. 4. 11</td> </tr> <tr> <td>今治市立波止浜小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>波止浜小</td> <td>H31. 4. 16</td> </tr> <tr> <td>今治市立玉川中学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>玉川中</td> <td>R元. 5. 17</td> </tr> <tr> <td>今治市立別宮小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>別宮小</td> <td>R2. 4. 24</td> </tr> <tr> <td>今治市立鴨部小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>鴨部小</td> <td>R2. 4. 30</td> </tr> <tr> <td>今治市立九和小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>九和小</td> <td>R2. 12. 23</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度中に設置された学校運営協議会数 13校11協議会 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">学校運営協議会</th> <th style="width: 10%;">形態</th> <th style="width: 30%;">学校名</th> <th style="width: 20%;">設置年月日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今治市立大三島中学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>大三島中</td> <td>R3. 4. 19</td> </tr> <tr> <td>今治市立上浦小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>上浦小</td> <td>R3. 5. 11</td> </tr> <tr> <td>今治市立大三島小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>大三島小</td> <td>R3. 5. 11</td> </tr> <tr> <td>今治市立大西中学校区運営協議会</td> <td>合同</td> <td>大西小、大西中</td> <td>R3. 5. 31</td> </tr> <tr> <td>今治市立波方小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>波方小</td> <td>R3. 7. 5</td> </tr> <tr> <td>今治市立日吉中学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>日吉中</td> <td>R4. 1. 13</td> </tr> <tr> <td>今治市立桜井小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>桜井小</td> <td>R4. 2. 21</td> </tr> <tr> <td>今治市立清水小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>清水小</td> <td>R4. 2. 21</td> </tr> <tr> <td>今治市立国分小学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>国分小</td> <td>R4. 2. 21</td> </tr> <tr> <td>今治市立桜井中学校運営協議会</td> <td>単独</td> <td>桜井中</td> <td>R4. 2. 21</td> </tr> <tr> <td>今治市立伯方中学校区運営協議会</td> <td>合同</td> <td>伯方小、伯方中</td> <td>R4. 3. 17</td> </tr> </tbody> </table>			学校運営協議会	形態	学校名	設置年月日	今治市立常盤小学校運営協議会	単独	常盤小	H31. 4. 11	今治市立波止浜小学校運営協議会	単独	波止浜小	H31. 4. 16	今治市立玉川中学校運営協議会	単独	玉川中	R元. 5. 17	今治市立別宮小学校運営協議会	単独	別宮小	R2. 4. 24	今治市立鴨部小学校運営協議会	単独	鴨部小	R2. 4. 30	今治市立九和小学校運営協議会	単独	九和小	R2. 12. 23	学校運営協議会	形態	学校名	設置年月日	今治市立大三島中学校運営協議会	単独	大三島中	R3. 4. 19	今治市立上浦小学校運営協議会	単独	上浦小	R3. 5. 11	今治市立大三島小学校運営協議会	単独	大三島小	R3. 5. 11	今治市立大西中学校区運営協議会	合同	大西小、大西中	R3. 5. 31	今治市立波方小学校運営協議会	単独	波方小	R3. 7. 5	今治市立日吉中学校運営協議会	単独	日吉中	R4. 1. 13	今治市立桜井小学校運営協議会	単独	桜井小	R4. 2. 21	今治市立清水小学校運営協議会	単独	清水小	R4. 2. 21	今治市立国分小学校運営協議会	単独	国分小	R4. 2. 21	今治市立桜井中学校運営協議会	単独	桜井中	R4. 2. 21	今治市立伯方中学校区運営協議会	合同	伯方小、伯方中	R4. 3. 17
	学校運営協議会	形態	学校名	設置年月日																																																																											
今治市立常盤小学校運営協議会	単独	常盤小	H31. 4. 11																																																																												
今治市立波止浜小学校運営協議会	単独	波止浜小	H31. 4. 16																																																																												
今治市立玉川中学校運営協議会	単独	玉川中	R元. 5. 17																																																																												
今治市立別宮小学校運営協議会	単独	別宮小	R2. 4. 24																																																																												
今治市立鴨部小学校運営協議会	単独	鴨部小	R2. 4. 30																																																																												
今治市立九和小学校運営協議会	単独	九和小	R2. 12. 23																																																																												
学校運営協議会	形態	学校名	設置年月日																																																																												
今治市立大三島中学校運営協議会	単独	大三島中	R3. 4. 19																																																																												
今治市立上浦小学校運営協議会	単独	上浦小	R3. 5. 11																																																																												
今治市立大三島小学校運営協議会	単独	大三島小	R3. 5. 11																																																																												
今治市立大西中学校区運営協議会	合同	大西小、大西中	R3. 5. 31																																																																												
今治市立波方小学校運営協議会	単独	波方小	R3. 7. 5																																																																												
今治市立日吉中学校運営協議会	単独	日吉中	R4. 1. 13																																																																												
今治市立桜井小学校運営協議会	単独	桜井小	R4. 2. 21																																																																												
今治市立清水小学校運営協議会	単独	清水小	R4. 2. 21																																																																												
今治市立国分小学校運営協議会	単独	国分小	R4. 2. 21																																																																												
今治市立桜井中学校運営協議会	単独	桜井中	R4. 2. 21																																																																												
今治市立伯方中学校区運営協議会	合同	伯方小、伯方中	R4. 3. 17																																																																												
金額	R3 予算額	—	R3 決算額	—																																																																											

自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>・学校運営協議会未設置の22校に関しては、準備委員会の開催や委員の選定を行い、令和4年度中の協議会設置に向けて研究を進めている。学校にとってより効果的な運営となるよう、学校運営協議会の在り方について研究・支援を継続していく。</p>			

【学識経験者の意見】

・学校と保護者や地域が意見を出し合いながら学校運営し、地域とともにある学校づくりのために学校運営協議会は重要です。今後、CSポートフォリオを活用しながら質的向上を図りながら運営されていくよう望んでいます。

・学校にとっての効果的な運営となるよう最適な人選と目標が大切になると思います。地域により温度差があり、それぞれに課題があると思われませんが、その都度適切なフォローのある体制を整え、極力、教頭先生の負担軽減になるよう推進していただきたいと思います。

・協議会を設置することが目的になってはなりません。何をするために設置するのかを忘れないことが大切です。

事務事業の点検・評価表

重点方針	4 「i . i . imabari !」教育 version (郷育(きょういく)) の推進																														
事業名	⑧ 今治市教育研究所研究指定	担当課	学校教育課																												
事業の概要 (目標)	コミュニティスクールに関して、研究指定校(6校)を設置し、組織的・計画的に研究開発を推進する。																														
取組実績	<p>・小学校4校(吉海小、宮窪小、上浦小、大三島小)、中学校2校(大島中、大三島中)を研究指定し、各学校、地域の実情に応じて学校運営協議会設置・運営について研究を推進した。</p> <p>〈令和3年度研究指定〉</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;"></th> <th style="width: 25%;">学校名</th> <th style="width: 15%;">研究指定</th> <th style="width: 55%;">研究テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1</td> <td>吉海小学校</td> <td style="text-align: center;">1年目</td> <td>地域とともにある学校づくりを目指して</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> <td>宮窪小学校</td> <td style="text-align: center;">1年目</td> <td>地域とともにある学校づくりを目指して</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>上浦小学校</td> <td style="text-align: center;">2年目</td> <td>地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>大三島小学校</td> <td style="text-align: center;">2年目</td> <td>ひと・もの・ことへのかかわりを基盤としたコミュニティ・スクールの活用を通じたふるさと学習の推進</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>大島中学校</td> <td style="text-align: center;">1年目</td> <td>地域とともにある学校づくりを目指して</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>大三島中学校</td> <td style="text-align: center;">2年目</td> <td>地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究</td> </tr> </tbody> </table>				学校名	研究指定	研究テーマ	1	吉海小学校	1年目	地域とともにある学校づくりを目指して	2	宮窪小学校	1年目	地域とともにある学校づくりを目指して	3	上浦小学校	2年目	地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究	4	大三島小学校	2年目	ひと・もの・ことへのかかわりを基盤としたコミュニティ・スクールの活用を通じたふるさと学習の推進	5	大島中学校	1年目	地域とともにある学校づくりを目指して	6	大三島中学校	2年目	地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究
		学校名	研究指定	研究テーマ																											
	1	吉海小学校	1年目	地域とともにある学校づくりを目指して																											
	2	宮窪小学校	1年目	地域とともにある学校づくりを目指して																											
	3	上浦小学校	2年目	地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究																											
	4	大三島小学校	2年目	ひと・もの・ことへのかかわりを基盤としたコミュニティ・スクールの活用を通じたふるさと学習の推進																											
	5	大島中学校	1年目	地域とともにある学校づくりを目指して																											
	6	大三島中学校	2年目	地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究																											
目標達成状況	<p>・今治市立上浦小学校運営協議会 令和3年5月11日設置</p> <p>・今治市立大三島小学校運営協議会 令和3年5月11日設置</p> <p>・今治市立大三島中学校運営協議会 令和3年4月19日設置</p> <p>・吉海小、宮窪小、大島中の大島中学校区3校は、令和4年度中に小中合同の協議会設置を目標に、2回の準備委員会を開催し、協議会運営について熟議し、また、委員の選出を行った。</p> <p>・研究指定2年目である上浦小、大三島小、大三島中の実践報告を、「研究報告書(第40集)」(令和4年2月発行)に掲載し、研究の成果と課題について、市内の小中学校と共有した。</p> <p>・令和4年2月16日に開催した「今治市教育研究所・上島町教育研究所合同研究発表大会」において、今治市立上浦小学校が「地域に根差したコミュニティ・スクールの在り方の研究ー地域の人・物・事とのかかわりを通じてー」と題して、研究発表を行い、研究の成果と課題について、市内の小中学校と共有した。</p>																														
金額	R3 予算額	360 千円	R3 決算額	360 千円																											
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった																											

	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	コミュニティ・スクールに関する研究指定を継続し、その研究成果を共有することで、より効果的な事業となるよう努める。			

【学識経験者の意見】

・成果と今後の在り方を検証するためには、組織的・計画的に研究を行うことは重要です。学校・家庭・地域の相互理解のもと地域で子どもの未来を考ええいけるよう PDCA サイクルを回しながら効果的に進められるようお願いします。

・研究指定校を設置することで機運と意識が高まっているように見受けられます。今後も集中して推進していくことで、大きな良い流れを創造していただきたく期待しております。

・少子化により、授業のやり方そのものを考えないといけないところもあるようです。地域の人達の応援を求めないと授業が成り立たない面もあるようです。そんな中での取り組みだと思えます。ただ、コミュニティですので、地域の人達にもメリットがないと続かないと思えます。補助ありきの取り組みであれば一考を願います。

事務事業の点検・評価表

重点施策	4 「i.i.imabari！」教育 version (郷育(きょういく)) の推進		
事業名	⑨ 日本遺産魅力発信推進事業	担当課	文化振興課
事業の概要 (目標)	地域の宝である日本遺産「村上海賊」の魅力を生きた市民に広く発信することで郷土愛を醸成し、市民全員が村上海賊のことを認知している状態を目指す。		
取組実績	<p>日本遺産魅力発信推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校出前講座 村上海賊が遺した「海の文化」を次世代へ継承するため、今治市内 19 の小学校の 4 年生 861 名を対象に出前講座を行った。 ・ 観光甲子園日本遺産部門へのエントリー校に対する支援 今治市内の高校生が観光甲子園の日本遺産部門として応募する、「村上海賊」をテーマにした動画の作成を、出前講座の実施や現地での調査に同行することで支援した。 ・ 日本遺産調査研究成果報告巡回展 村上海賊と塩の荘園(弓削島荘、因島荘)との関係を示す様々な資料を紹介。また、村上海賊ミュージアムはコロナ禍による展示期間短縮の影響を補うため、展示解説動画を作成し YOUTUBE にて公表した。 ・ 令和 3 年度公益財団法人愛媛銀行ふるさと振興基金助成対象として表彰 これまでの取り組みと地域の文化振興を推進する目的が評価された。 ・ スポーツ文化ツーリズムアワード 2021 文化ツーリズム受賞 スポーツや文化資源を観光と結びつけ、新たな地域ブランドを創出し、観光振興・地域振興を推進することを目的とするスポーツ文化ツーリズムアワード 2021 に応募。結果として文化ツーリズム賞を受賞。表彰式に出席し、村上海賊の PR を行った。 また受賞を記念して、イオンモール今治新都市にて、これまでの取り組みや日本遺産に認定された村上海賊ストーリーをパネルや映像で紹介して展示を行った。 また今治市立中央図書館にてこれまでの取り組みや日本遺産に認定された村上海賊ストーリーをパネルで紹介した。あわせて関連書籍も紹介して市民の認知度向上に努めた。 ・ 各種 PR ブース出展など FC 今治のホームゲームや地元のショッピングモールにおいて、村上海賊の PR ブースを出展した。村上海賊の武器である「ほうろく玉」のデザインのコイン投げゲームを実施し、大人から子どもまで楽しく村上海賊に親しんだ。 		

目標達成状況	各種 PR 事業、イベント出展により、地域内外に幅広く日本遺産村上海賊の魅力を発信することで、村上海賊を活用した地域活性化の機運が高まるとともに地域の歴史文化に対する愛着醸成につながった。小学生向けの出前講座や高校生観光甲子園へのエントリー校の支援により、村上海賊の「海の文化」を次世代へ伝承することができた。			
金額	R3 予算額	3,952 千円	R3 決算額	2,519 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	村上海賊のブランド力を向上させ、民間事業者と協力しながら商品開発などを推進することで地域経済への貢献度を高めていく。他地域とも連携を強化しながら村上海賊の魅力を継続的に発信する。			

【学識経験者の意見】

・コロナ禍においても地域の活性化を目指し、地域の内外に向け日本遺産村上海賊の魅力発信のためにさまざまな事業が行われたことがわかりました。歴史的的魅力にあふれた文化財を今後も ICT 等も活用しながら発信して行ってください。

・出前講座や動画配信を活用する等、幅広い発信を行っており、今後も同規模までとはいかないまでも長期的にストーリーを持って推進していただきたいと思います。

・日本遺産の登録は「村上海賊」となっていますが、「村上海賊」が成り立つのは、船の操作技術に優れているが故のものです。それ故、「村上水軍」として、歴史上活躍しています。海賊のほうが発信力はあるのですが、「海賊」「水軍」のベースである操船技術にも光を当て欲しいです。

事務事業の点検・評価表

重点施策	4 「i.i.imabari！」教育 version（郷育(きょういく)）の推進			
事業名	⑩ 文化財保護事業	担当課	文化振興課	
事業の概要 (目標)	指定文化財の件数は、国指定 105 件、県指定 45 件、市指定 328 件の合計 478 件、登録文化財 12 件（令和 3 年度末現在）となっている。文化財は、地域の歴史、文化の正しい理解のために欠くことができないものであり、これらを後世に残し伝えるため、適切な保存管理に努めていく。			
取組実績	<p>指定文化財保存事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国重要文化財「熏韋威胴丸保存修理」 大山祇神社所有鎧の歪修正・汚れ除去作業、専用保存台作成 事業の補助割合（国 65%、県 15%、市 15%）残額は所有者負担 ・国重要文化財「三島明神奉納武器類保存修理」 大山祇神社所有重藤弓等の修復・汚れ除去作業 事業の補助割合（国 65%、県 15%、市 15%）残額は所有者負担 ・国重要文化財「大山祇神社本殿他防災設備保守点検」 事業の補助割合（県 50%、市 25%）残額は所有者負担 ・県指定文化財「黒漆葵五星文蒔絵太刀拵保存修理事業」 大山祇神社所有拵の修復・汚れ除去作業 事業の補助割合（県 33%、市 33%）残額は所有者負担 ・県指定無形民俗文化財「今治及び越智地方の獅子舞保存顕彰事業」 「脇獅子連」「野間獅子連中」「小部獅子保存会」に伝わる獅子舞用具の復元新調及び修理事業 事業の補助割合（県 33%、市 33%）残額は所有者負担 ・市指定文化財「亀山八幡神社裏古墳環境整備事業」 古墳の石積みに根を張る雑木の伐採 事業の補助割合（市 33%）残額は所有者負担 ・県指定民俗文化財「お供馬の行事」 行事に係る費用、調教及び訓練に係る費用、飼育に係る費用の 1/3 補助 			
目標達成状況	文化財所有者や地域の皆様のご理解ご協力、関係機関のご指導ご協力のもと、文化財の保護を適切に図ることができた。			
金額	R3 予算額	8,269 千円	R3 決算額 7,682 千円	
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	指定文化財を後世に残し伝えるため、今後も適切な保存・管理に努めていく。			

【学識経験者の意見】

・文化財の保護や活用は伝統的な技術や経験をもとにした専門的な知識とスキルが求められる事業です。さまざまな社会環境が変化していく中でも、長く保護し未来に伝えることができるよう、関係者のみならず地域住民の理解と協力を得ながら文化財の保護と歴史・文化を生かしたまちづくりをお願いします。

・指定文化財の保護に関わる方々のご努力とご尽力に対し、後世に残し伝える為の適切な保存管理を引き続きお願いします。

・昔の人は、何もないのによくこんなものができたというものを、いろいろ工夫して作っています。そんな文化財の保護は、何でも簡単にできる現在にもいろいろなヒントを与えてくれると思います。地道な取り組みですが大切です。

事務事業の点検・評価表

重点施策	4 「i.i.imabari！」教育 version (郷育(きょういく)) の推進			
事業名	① 埋蔵文化財調査事業	担当課	文化振興課	
事業の概要 (目標)	文化財の調査等を実施し、文化財の保護と活用を図る。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・農地転用等の開発に伴う試掘確認調査を 32 か所で行い、9 か所で新たに遺跡を発見した。また、これらの埋蔵文化財調査の結果とその分布の傾向を一元管理するため、GIS に調査場所や調査結果等のデータ入力を実施した。(補助事業) ・伊予国府探索事業として、これまでに蓄積された試掘確認調査・発掘調査の成果や、旧公図等による水路の復元、航空レーザー計測にて作成した微地形図、土地条件図等を基に調査地を選定し、試掘確認調査を実施した。 ・市内遺跡の発掘調査に伴う整理作業及び報告書作成業務を実施し、1 冊の試掘調査報告書を刊行した。(補助事業) ・国指定史跡「能島城跡」総合活用整備事業に伴う、令和 4 年度から実施予定の整備工事に係る地形測量及び整備工事基本設計業務を実施した。 ・史跡幸賀屋敷跡の野外拡張子局設置工事に伴う試掘調査の報告書を刊行した。 			
目標達成状況	市内遺跡発掘調査における農地転用等に伴う試掘調査では、これまでの調査データが蓄積されたことによって、試掘対象地域が絞り込まれつつあり、事前調査が必要な箇所も減少傾向にある。適切に試掘調査を実施したことで、開発前に埋蔵文化財包蔵地を把握し、遺跡の損壊を未然に防ぐことができた。これらのデータは報告書の刊行、GIS システムに入力・管理することで情報を一元化し、包蔵地の範囲認定をすることによって、リアルタイムでの包蔵地把握と事務処理の効率化が図られている。史跡能島城跡では工事実施に伴う測量及び設計業務を実施し、来年度からの工事実施を図る。			
金額	R3 予算額	57,601 千円	R3 決算額	49,879 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	旧郡部を中心に包蔵地の状況が掴めていない地域が多く、今後も必要に応じて継続して調査を実施することによって、文化財保護と周知に努める必要がある。 史跡能島城跡では災害復旧事業完了後も度重なる大雨で崩落等が発生しており、復旧に加え防災、減災上の取組も必要不可欠である。			

【学識経験者の意見】

・これまでのデータをもとに市内遺跡発掘調査を効率的に行われていることがわかりました。旧郡部の文化財保護の推進、また、防災、減災上の取り組みも含め計画的に文化財の保護・活用の推進を図っていただきたいと思います。

・市内遺跡発掘調査は、これまでのデータの蓄積を基に的確に進められていることを評価いたします。今後も丁寧に調査をしていただき、未来の「まちづくり」のデータベースとして有効に活用していただくことを期待します。

・文化財的価値のあるもので、埋もれているものは沢山あると思います。機会を逃さず調査・保護し、活用できるものは工夫して活用して欲しいと思います。

事務事業の点検・評価表

重点施策	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備		
事業名	① 文化振興事業	担当課	文化振興課
事業の概要 (目標)	市民の作品を展示する展覧会、各地域文化祭、著名な文化人による文化講演会を通して地域の文化振興を図る。		
取組実績	<p>①第 73 回市展 作品計 331 点 洋画・デザイン・工芸・版画・書道・彫刻・写真・日本画の 8 部門 会期：令和 3 年 9 月 18 日(土)～9 月 26 日(日) 入館者 1,251 名 予算 1,400 千円 決算 1,241 千円</p> <p>②第 70 回秋季県展今治移動展の開催 作品計 164 点 秋季県展出展作品のうち、今治市・上島町出身者の作品を河野美術館で展示。県展受賞作品をはじめ、洋画、版画、写真、デザイン、日本画、彫刻、工芸、書道の 8 部門。 会期：令和 3 年 11 月 27 日(土)～12 月 5 日(日) 入館者 1,211 名 予算 1,200 千円 決算 987 千円</p> <p>③第 39 回今治文化芸術祭、第 15 回今治総合芸能祭、写真展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 39 回今治文化芸術祭 芸能祭 1 (寿太鼓・洋舞)、いけばな展、俳句大会、短歌大会、芸能祭 2 (三曲・民謡民舞新舞踊)、音楽祭、川柳大会 (誌上開催)、芸能祭 3 (謡曲・詩吟) 令和 3 年 10 月 23 日(土)～11 月 14 日(日) の土日 ・第 15 回今治総合芸能祭 令和 4 年 2 月 6 日(日) 開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大のため中止 ・第 39 回今治文化芸術祭・第 15 回今治総合芸能祭 写真展 令和 4 年 2 月 19 日(土)～27 日(日) 開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大のため中止 ※文化振興課にて閲覧期間を設けた (令和 4 年 2 月 9 日(水)～18 日(金)) ・いまばり文化協会報 86 号 (令和 3 年 9 月) 1,700 部 87 号 (令和 4 年 1 月) 1,600 部 予算 3,147 千円 決算 2,046 千円 <p>④文化祭等開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、菊間、宮窪、伯方、上浦、大三島各文化協会団体の実施する予定であった文化祭や文化まつり等が中止となった。 ・同じく新型コロナウイルス感染拡大の影響により波方産業文化祭の開催が中止となった。 <p style="text-align: right;">予算 4,658 千円 決算 1,135 千円</p> <p>⑤今治市文化芸術未来プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなと MAYA MAXX 展」河野美術館・玉川近代美術館 会期：令和 3 年 7 月 31 日(土)～8 月 29 日(日) 入館者 2 館計 2,357 人 		

	<p>・関連イベントとして、ギャラリートーク、ナイトミュージアム、自画像ワークショップ、展示体験ワークショップを実施。</p> <p style="text-align: right;">予算 4,000 千円 決算 3,522 千円</p> <p>⑥玉川文化講演会 開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大のため中止</p> <p style="text-align: right;">予算 3,287 千円 決算 520 千円</p>			
目標達成状況	<p>展覧会や文化祭等を通して、市内で継続的に芸術創作活動・文化活動を行っている芸術家等による作品を幅広く市民が鑑賞できる場を提供し、市内で積極的に活動する文化団体の創作意欲を高め、また文化活動について市民に広く周知することで、幅広い年齢層への文化活動への参加の拡大と文化の振興を図った。</p> <p>今治市文化芸術未来プロジェクト「みんなと MAYA MAXX 展」の実施により、特に若い世代が文化芸術に親しみを持つきっかけや、将来芸術関係の職業を目指すきっかけをつくることのできた。</p>			
金額	R3 予算額	17,692 千円	R3 決算額	9,451 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>参加者の高齢化や減少が懸念され、今後の文化芸術活動の持続的な振興を図る必要がある。そのため、新しい取り組みとして次代を担う子供たちへの啓発を行う文化芸術未来プロジェクトを開始した。</p>			

【学識経験者の意見】

・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止された講演もありましたが、多くの事業が実施されたことに感謝いたします。コロナ禍だからこそ地域で文化活動に触れることができる機会があることで、市民の豊かな心と地域の元気を育む場となることでしょう。文化活動が幅広い年齢層へと拡大し、地域文化を媒体としたまちづくり・ひとづくりとなっていくよう願っております。

・新型コロナウイルス感染症拡大により、開催中止等の影響が非常に大きいですが、文化活動の幅広い普及を目的として、このような状況を機に動画配信や SNS 発信等を有効に活用してみたいかと思っています。

・新しい取り組みとして、文化芸術未来プロジェクトなど、若い世代への働きかけをしていることはいいことだと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	② 生涯学習振興事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	生涯学習の振興に資するため、その一環である芸能などに親しむ機会として講演会を開催している事業である。市民の生涯学習活動への取り組みのきっかけとなるよう、勉強やスポーツ、趣味といった様々なテーマで講師を招き実施している。			
取組実績	市民が生涯学習活動へ取り組むきっかけとなることを狙いとした講演会を、大三島公民館大ホールにて開催する計画であったが、大三島公民館運営審議会における協議の結果、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために事業を中止することとなった。			
目標達成状況	令和 2 年度に引き続き、例年開催している講演会が中止となったが、企画・準備を進める中で、関係者間では生涯学習活動への興味、また、その重要性を認識してもらうことはできたと思う。			
金額	R3 予算額	950 千円	R3 決算額	0 円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	講演会参加者の固定化が懸念される。広く市民の生きがいに繋げるためには、広報等周知はもちろん、市全体のニーズに応える事業実施が必要である。また、一過性の講演会で終わらせないためにも、アンケートや評価などを行うことで新たな事業展開につなげる方法を模索したい。			

【学識経験者の意見】

・新型コロナウイルス感染症の影響により事業は中止になりましたが、どこにいてもだれでも学習できるという生涯学習の機会や場を提供することは、市民一人一人の豊かな人生と自己の人格を磨くこと、さらには生きがいつくりになります。今後の感染状況を踏まえ、市民のニーズに応えた事業を実施して行ってほしいと思います。

・講演会参加者の固定化の懸念に関して、各回毎の目的と重点対象者を明確にし、講演会の内容（聴衆のターゲット）により各回の時間帯の変更等、気軽に参加できる環境を創っていただきたいと思います。

・専門の講師のお話を聞くのは、いろいろと参考になり、刺激にもなります。市民のニーズに合った講師選定はなかなか難しい面があります。タイムリーなお話を聞けることはありがたいことです。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	③ 社会体育事業	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	各種目協会による各種競技大会の開催やスポーツ活動を支援し、青少年の健全育成、生涯スポーツの推進、スポーツを通じた地域活性化を図る。			
取組実績	<p>社会体育委託事業として、39 団体に 163 事業のスポーツ大会及びイベントの開催を委託しスポーツ教室・大会の開催や各種スポーツ団体への支援に努め、各スポーツ団体の主体的な活動を支援することができた。</p> <p>新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、延期・中止となった事業もあるが、26 団体が 66 事業を開催し、市民のスポーツ活動の推進と、健康の保持増進に寄与した。</p>			
目標達成状況	令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、従来開催していたスポーツ教室・大会が延期・中止となったが、それぞれの種目に応じた感染症対策を徹底しながらスポーツ教室・大会の開催及び各種スポーツ団体へ支援を行うことで、社会体育活動の振興に貢献した。			
金額	R3 予算額	22,191 千円	R3 決算額 5,586 千円	
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	新型コロナウイルス感染拡大に伴いスポーツが実施できなくなった原因の一つに、スポーツ施設の休業があるが、感染症対策を引き続き徹底しながら、競技スポーツ・青少年スポーツ・生涯スポーツ等への支援を行い、スポーツ人口の拡大と世代間の交流を図り、心身ともに健康で生きがいのあるスポーツの振興に努めていく必要がある。			

【学識経験者の意見】

・新型コロナウイルス感染拡大に伴い、延期・中止となった事業もありましたが、スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインのもと、各種社会体育事業が行われ、青少年の健全育成、生涯スポーツ、スポーツを通じた地域活性化を今後も担ってほしいと思います。

・社会体育を支える団体や指導者を支援する事は今後の中学校の部活動の地域移行にも大きく関係してくる事項だと思われます。少年スポーツ振興事業、スポーツ協会補助金も含めて大会やイベント以外にも競技指導者の研修など幅広い支援を推進していただきたいです。

・健康寿命というのがありますが、人生100年時代とは、100歳まで健康に過ごすことだと思います。健康を維持するため、スポーツは大切です。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	④ 少年スポーツ振興事業	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	スポーツ少年団等による各種競技大会の開催やスポーツ活動を支援し、青少年の健全育成、生涯スポーツの推進、スポーツを通じた地域活性化を図る。			
取組実績	少年スポーツ及びジュニアスポーツの育成のため、今治市スポーツ少年団 33 団体、や玉川ジュニアテニスクラブなど 18 団体に活動推進に関わる経費を支援し、小中学生及び指導者の育成に寄与した。なお、令和 2 年度に引き続き広島県尾道市、群馬県太田市と実施している姉妹都市交流事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。			
目標達成状況	令和 2 年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、従来開催していたスポーツ活動を縮小せざるを得ない時期もあった。そういった中でも感染症対策を徹底しながらスポーツ教室・大会の開催及び各種スポーツ団体へ支援を継続することで、少年スポーツの振興に貢献した。			
金額	R3 予算額	1,485 千円	R3 決算額	1,440 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	感染症対策を講じた中で、スポーツ大会開催時などに新型コロナウイルスの感染者が発生した場合の連絡体制や対応策について、検討する必要がある。			

【学識経験者の意見】

- ・子どもにとってのスポーツは、健康や体力の基礎を培うだけでなく人間関係形成に重要な役割を果たします。積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもが二極化するなか、多くの子どもが十分に体を動かして、スポーツの楽しさや意義・価値を実感できるよう今後も環境整備をお願いします。
- ・小中学生及び指導者の育成に関して、経費面での幅広い支援は必要ですが市内の活動団体を一括で紹介するような媒体があれば幅広い選択肢ができて良いと思います。
- ・スポーツ習慣は、小さい時からの継続が大切です。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑤ スポーツ協会補助金事業	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	スポーツ協会による各種競技大会の開催やスポーツ活動を支援し、青少年の健全育成、生涯スポーツの推進、スポーツを通じた地域活性化を図る。			
取組実績	今治市スポーツ協会加盟団体、45 団体に活動費の支援を実施。今治市スポーツ協会の活動推進に寄与するとともに、市民の健康づくり、競技力向上が図られた。			
目標達成状況	新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を奮い、従来開催していたスポーツ教室・大会が延期・中止となったが、感染症対策を徹底しながら各団体へ支援を行うことで、今治市スポーツ協会の活動に寄与し、市民の健康づくり、競技力向上が図られた。			
金額	R3 予算額	2,700 千円	R3 決算額	2,700 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	スポーツ活動が時代とともに多様化する中で、各スポーツ団体からの意見を聴取するとともにそれぞれの時代に適応した支援の方法を検討していく必要がある。			

【学識経験者の意見】

・コロナ禍においても、地域という身近なスポーツ環境が充実していくことで、市民の誰もが生涯にわたりスポーツに親しむことができ、誰もが自分にあった方法でいつでも、どこでも、いつまでもスポーツを親しむことができるスポーツ環境が整っていくよう願っています。

・今治市の「スポーツ振興計画」を全面に出して、今必要とされる支援の方法を検討し、変更があれば時代に則した計画に改定しその目的に向かって事業を進めていくことが必要かと思えます。

・スポーツ協会の方は、各スポーツの振興のために一所懸命に活動しています。その活動の手助けは必要だと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑥ 東京オリンピックホストタウン推進事業	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	東京 2020 オリンピック・パラリンピックにおいて、パナマ共和国のホストタウンとして事前合宿の開催並びにスポーツを通じた交流を促進する。			
取組実績	パナマ共和国の事前合宿の誘致を図るため。2019 年から姉妹都市パナマ市創立 500 周年記念コンサート、パナマ展の開催や市長・議長がパナマ市を訪問、オンライン交流など相互交流を推進することで、事前合宿誘致に向けた取り組みを実施した。			
目標達成状況	新型コロナウイルス感染拡大のため、残念ながら東京 2020 オリンピック大会直前に事前合宿の中止が決定した。事前合宿は中止となったが、大会に入国した選手団に今治タオルやアイアイ今治グッズなどを贈ったり、パナマ共和国スポーツ担当大臣と市長がオンライン会議をしたりするなど、可能な交流を継続することで、相互の交流を深めることができた。			
金額	R3 予算額	6,100 千円	R3 決算額	0 円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会は閉幕となったが、今後においても大会のレガシーを継承していくため、地域特性を生かしながら、スポーツ交流、文化交流、農業交流など、幅広い交流の実施を検討するとともに言語や生活・習慣等の違いを越えた心と心のふれあいを持つことで、市民の異文化に対する理解と認識を深め、国際社会に貢献する豊かな人材の育成につなげていきたい。			

【学識経験者の意見】

・新型コロナウイルス感染拡大のため、事前合宿が中止になったことは残念でしたが、交流を通して異文化を知り、相互の魅力の発見、地域活性化につながっていることと思います。スポーツを通じたひとづくり・まちづくりを今後も積極的に推進して行ってほしいと思います。

・新型コロナウイルス感染拡大の影響を多分に受けてしまった事業ではありましたが、これを機に子ども同士でのオンラインでの交流を多く図り、異文化に対する理解を深める機会を模索する機会としていただきたいと思います。

・東京 2020 オリンピックホストタウンは、残念ながら直前に合宿が中止になりましたが、いろいろな機会にこういった取り組みをすることは、スポーツだけでなく国際交流に役立つと思います。

事務事業の点検・評価表

重点施策	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備		
事業名	⑦ 企画展等開催事業	担当課	文化振興課
事業の概要 (目標)	各美術館・博物館それぞれの収蔵品を中心に他館からの借用も含めて企画展を開催し、芸術文化の振興・文化財保護意識の醸成を図る。		
取組実績	<p>各美術館・博物館の特徴を生かした企画展や講演会等の開催</p> <p>◎河野美術館（指定管理者実施）</p> <p>○企画展「武家社会の文雅」（4/1～7/18） 展示作品 55 点 入館者 188 人 「源氏物語の読者たち」（10/19～11/14） 展示作品 30 点 入館者 125 人 「河野コレクションでめぐる日本史 ～古代から中世～」(12/21～3/21) 展示作品 65 点 入館者 991 人 「第 14 回 アートクラブグランプリ（全国中学校美術部作品展）」今治巡回展（8/17～8/29） 展示作品 41 点 入館者 281 人 「第 34 回 現代美術展 ―郷土ゆかりの作家たち―」（2/5～2/27） 展示作品 42 点 入館者 691 人</p> <p>予算 3,729 千円 決算 3,036 千円</p> <p>◎今治城（指定管理者実施）</p> <p>○企画展「新収蔵品展 ―令和 2 年度収蔵資料―」（6/1～2/27） 資料点数 7 点 入館者 32,387 人 「江戸時代 のぞいてみよう！お侍さんの仕事」（10/2～12/19） 資料点数 10 点 入館者 5,826 人 「天守のおとなりさん 吹揚神社の今昔」（3/19～5/22） 資料点数 18 点 入館者 1,530 人（人数は 3/31 までの合計）</p> <p>予算 1,138 千円 決算 44 千円</p> <p>◎玉川近代美術館（指定管理者実施）</p> <p>○企画展「新人画会とその時代」（4/1～6/20） 展示作品 21 点 入館者 132 人 「wonder アートを楽しもう」（6/26～11/7） 展示作品 46 点 入館者 670 人 「開館 35 周年記念 玉美コレクション展」（11/16～1/16） 展示作品 99 点 入館者 768 人 「玉美コレクション展Ⅱ」（1/25～3/31） 展示作品 55 点 入館者 221 人</p> <p>予算 2,477 千円 決算 349 千円</p> <p>◎朝倉ふるさと美術古墳館</p> <p>○第 19 期「あさくら歴史探検隊」 ※新型コロナウイルス感染症の影響により年間講座 6 回開催予定のうち 3 回実施。 体験学習講座 3 回実施 今治市内小学生隊員数 35 人 年間参加人数 128 人</p> <p>○企画展「第 32 回 朝倉ふるさと美術展」</p>		

※新型コロナウイルス感染症の感染回避（臨時休館）のため中止とした。

会期：令和3年5月1日～令和3年5月30日の開催予定であった。

○企画展「光をつなぐアート展」～愛と平和の祈り～

会期：令和3年6月19日～10月31日 来場者 3,140人 出展作品 205点

○企画展「浮穴 功 追悼展（遺作展）」

会期：令和3年12月3日～12月23日 来場者 393人 出展作品 73点

○企画展「第30回 地域交流展」

会期：令和4年2月1日～3月6日 来場者 419人 出展作品 185点 出展者 77人

○企画展「館蔵品展」

期間：令和4年1月5日～1月23日 来場者 73人

予算：706千円 決算 639千円

◎大西藤山歴史資料館

○企画展 大西の古墳 奥の内1号墳

○企画展 妙見山古墳と朝倉の古墳

※大西藤山歴史資料館学芸員の退職に伴い企画展の開催ができなかった。

予算：288千円 決算 0千円

◎吉海郷土文化センター（野間仁根バラのミュージアム）

○館蔵品展 「野間仁根が描く 瀬戸内海」 4/20(火)～※9/20(月) 作品 11点

期間中総入館者数：245人 ※7/25（日）までの予定でしたが、4/22（木）～5/31（月）及び、8/14（土）～9/13（月）まで休館となったため、開催期間を延長。9/20（月）までとした。

○館蔵品展「素描展」（R3/10/2(土)～R4/1/10(月)) 作品 8点

期間中総入館者数：472人

○館蔵品展「仁根と壺天子」（R4/1/22(土)～4/17(日)) 作品 9点

期間中総入館者数：154人

予算 0円（ポスター、チラシ外注無し）

◎村上海賊ミュージアム

○特別展「KAIZOKUの西と東」（中止）

県外からの借用に伴う特別展であったため中止し、館蔵品を中心とし下記に変更。

（変更）企画展「平成30年7月豪雨と能島城ー「かけら」が語る災害の記憶ー」

海岸でレスキューされた土器や陶磁器などを展示し、史跡の歴史的価値と保護の重要性について考える企画展。

会期：令和3年6月5日（土）～8月29日（日）期間中総入館者数：8,162人

○企画展「村上家のおもてなし」

館蔵品を中心に、江戸時代の村上家のおもてなしや教養を紹介する企画展。

会期：令和3年10月9日（土）～令和4年1月10日（日）

期間中総入館者数：15,309人

	<p>○企画展「吉井勇伯方島滞在 85 年記念企画展 吉井勇と海賊の島」 吉井勇は『ゴンドラの唄』の作詞で知られる歌人。伯方島に滞在して 85 年の節目に、村上海賊ゆかりの地で過ごした吉井勇の記憶をたどる企画展。 会期：令和 4 年 2 月 19 日（土）～令和 4 年 5 月 22 日（日） 期間中総入館者数：19,965 人（うち R3 分 5,383 人、R4 分 14,582 人） 予算 3,870 千円 決算 1,045 千円</p> <p>◎大三島美術館</p> <p>○企画展「ベリーマキコ・石橋志郎 ふたりの視点 Their point of view from KYOTO」 京都を中心とした日本画壇で活躍する若手作家、ベリーマキコ氏と石橋志郎氏二人展。ベリーマキコ氏は大三島に所縁のある日本画家。 会期：令和 3 年 8 月 7 日（土）～12 月 26 日（日）（96 日間）※8 月 14 日（土）～9 月 13 日（土） コロナの影響で臨時休館 入館者数：907 名 展示作品 36 件</p> <p>○コラボ展示「四季を創る 越智みさお・フラワーアート×現代日本画」 会期：令和 4 年 3 月 11 日（金）～令和 4 年 5 月 29 日（日）（69 日間） 入館者数：1,232 名 展示作品 約 90 点</p> <p>○田淵俊夫展・田淵俊夫講演会 会期：令和 3 年 10 月 30 日（土）～令和 4 年 1 月 23 日（日） 講演会：令和 3 年 11 月 6 日（土）13：30～15：00 ※新型コロナウイルス感染症の影響により田淵俊夫講演会を中止。講演会が前提の田淵俊夫展のため同じく中止。 予算：4,714 千円 決算：3,116 千円</p> <p>◎伊東豊雄建築ミュージアム 2021 年度 開館 10 周年記念展「もうひとつのユートピア」では、建築家・伊東豊雄が長年住み続けてきた島民の声や写真などを通じて人口減少などの問題を抱える大三島の現在と過去の歩みを伝える展示や設立 50 周年を迎えた伊東建築設計事務所の取り組みの展示も行った。 予算：11,000 千円 決算：10,549 千円</p>
<p>目標達成状況</p>	<p>◎河野美術館 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館や事業の中止などで、観覧者数は 18,772 人（前年比 88%）と減少し、目標（34,000 人）には及ばなかった。</p> <p>◎今治城 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館等により、観覧者数に影響があり、秋季以降は回復した時期もあったが、観覧者数は 40,677 人（前年比 102%）となり、目標（57,000 人）には及ばなかった。</p> <p>◎玉川近代美術館 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館などで、来館者数に影響はあったが、来館者数は 3,255 人（前年比 113%）と前年よりも増加したものの、目標（5,477</p>

人)には及ばなかった。

◎朝倉ふるさと美術古墳館

新型コロナウイルス感染症の影響により企画展等は一部中止を余儀なくされたが、計画した企画展や貸し館による展示会は概ね9割を実施することができた。また来館者数はピアノ発表会コンサートなどを含み7,342人(前年比162%)と大幅に増加し、地域文化の発信と発展に寄与することができた。

◎大西藤山歴史資料館

大西藤山歴史資料館学芸員採用は中々応募が無く、生涯学習課の学芸員にて企画展を企画運営できるように人員を整えていく必要がある。

有料来館者数は企画展が開催できなかったことから、469人(前年比32%)となった。

◎吉海郷土文化センター(野間仁根バラのミュージアム)

R2年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、上半期は繁忙期である5月に続き、8月～9月、あわせて2か月間臨時休館となった。そのため入館者数は大幅に減少した。しかし、県外への往来が出来にくいこともあり、県内からの入館者数の割合が増えたことは、県民皆様への周知にある程度の成果が見られたと考えられる。

◎村上海賊ミュージアム

年間の総入館者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度比88%の35,613人とどまったが、主催企画展・特別展期間中の総入館者数は28,854人であり、前年度比137%(R3企画展総来館者数21,098人)であった。また、総入館者数は減少したものの、学校利用(小・中・高校)の総数は、前年度84件に対し、令和3年度は94件であり、前年度比112%と増加した。また、吉井勇と村上海賊を結びつけるなど、新たなジャンルを開拓することで文学分野との学术交流も生まれ、今後の調査研究・展示・教育普及活動の幅を広げることができた。

◎大三島美術館

大三島所縁の作家・ベリーマキコ氏を取り上げることで大三島の伝説を描いた絵巻物を制作していただき、寄贈が検討されている。企画展開催中に石橋志郎氏は令和3年度の京都市芸術新人賞に内定し、直近の展覧会として大三島美術館が話題に出ることで、現代日本画を扱う美術館として大三島美術館の知名度も上がるなど、若手日本画家を取り上げることによる成果があったと考えられる。

コロナウイルス流行の影響下であったこと、繁忙期8月中旬～9月中旬の1か月間が臨時休館となったことにより企画展の入館者数は伸び悩んだが、2回の関連ワークショップは定員の約2倍の申し込みがあり成果を上げることができた。

◎伊東豊雄建築ミュージアム

伊東が目指す「もうひとつのユートピア」は「大三島を日本で一番住みやすい島にしよう」という夢に向かって挑戦したいとの思想を伝える内容となった。

金額	R3 予算額	27,922 千円	R3 決算額	18,778 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった

	<input type="checkbox"/> 成果が不十分であった	<input type="checkbox"/> 成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>◎指定管理施設（河野美術館、今治城、玉川近代美術館） 事業は慣例にとらわれず、ニーズの把握、新たな取組みや魅力的な企画、効果的な宣伝広報、新たな連携先との取組み等を行うことにより、更なる利用促進に努めていく。</p> <p>◎朝倉ふるさと美術古墳館 独自性を持った特色ある館のイメージづくりと、地域文化の発展のため美術を始め、古墳文化やピアノを活用した音楽文化の発信地として当館利用の周知に努める。</p> <p>◎大西藤山歴史資料館 生涯学習課学芸員による館のテーマに沿った魅力的な企画展の開催 情報発信の強化</p> <p>◎吉海郷土文化センター（野間仁根バラのミュージアム） 展示内容を、魅力的で入館者が楽しめるよう工夫し、独自性を持った館になるよう努める。ワークショップ等、集客に繋がる取組を考え実行する。</p> <p>◎村上海賊ミュージアム 未整理・未発表の村上家伝来資料を多く所蔵しているため、それらの整理作業と調査研究が今後の最重要課題であり、その成果を市民に還元するための企画展も積極的に開催しなければならない。そのためには学芸員が専門的な作業に費やす時間を確保しなければならないが現状では困難であり、ミュージアム業務の分担の見直しや個々のスキルアップによる改善が必要である。</p> <p>◎大三島美術館 現在の日本画壇は京都と東京が中心であるが、日本画に限らず故郷で活動するアーティストは若手を中心に増えている。継続して企画展で取り上げるため中四国域で実力ある注目の若手作家が活動していないか見ていく必要がある。 参加型鑑賞など美術館の楽しみ方が多様化しており、館蔵品を楽しんでもらうためにも学芸員のスキルアップをする必要があるが、研修参加の機会を確保する時間の余裕がないことが課題である。</p> <p>◎伊東豊雄建築ミュージアム 今後も伊東の建築活動の一端に触れる展覧会を実施し、建築教育の普及に努める。</p>	

【学識経験者の意見】

・今期も新型コロナウイルス感染症の対策のなかでの開催にご苦労されたことと存じます。美術館や博物館は文化を記録し歴史を見せることができ、身近に地域を知り本物が認知できる場所です。今後も地域の教育・普及・研究が行われる場となり、学校や地域におけるさまざまな活動、観光、まちづくり、産業等の関連分野と協力しながらこれから各美術館・博物館の特長を生かして活性化を図っていただきたいと思います。

・企画展に関して、リアルタイムで学んでいる歴史や文化に触れる機会を増やすと共に、内容によっては地域の歴史に触れる事で郷土愛を育む事できるよう、市内各学校での紹介を積極的に行うことで相乗効果が期待できるのではないのでしょうか。

・朝倉ふるさと美術古墳館、村上海賊ミュージアム、大三島美術館などは、コロナ禍のなか、企画展により、それなりの成果を出しているようです。地域には地域なりの良さがあります。地域にいとその良さがなかなか解かりにくいところがあります。学芸員さんにご苦労だと思いますが、新しい発見をして表現すれば、確かな反応があると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑧ 公民館活動推進事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	市民が心豊かに生活を営み、生涯を通して充実した人生を送ることができるよう、公民館等社会教育施設において趣味教養講座や生涯学習講座、子育て講座等を開設し、世代間の交流や地域文化の伝承等を推進する。			
取組実績	別紙〈各地区における主な講座のジャンルと利用人数〉のとおり			
目標達成状況	<p>○事業の成果</p> <p>各地区において様々な講座・事業を実施し、住民の生きがいがづくりや触れ合いの場を提供した。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い施設や一部講座を休止したため、利用人数は昨年度に続き減少したままであるが、対人距離を確保した定員とするなど新しい生活様式を取り入れて感染症対策を徹底し、安心して利用出来る公民館となるよう取り組んだ。</p>			
金額	R3 予算額	10,238 千円	R3 決算額	3,345 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<p>利用者の増加を課題としており、公民館運営審議会における地区内の公民館協力団体（各種コミュニティ団体）や学識経験者等からの意見、施設利用報告書、利用者へのアンケート結果、その他参加人数等からニーズを把握し、趣味教養講座や主催事業の内容を変更することで改善を試みている。新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前は一定の効果を上げていたため、今後も継続する予定である。</p>			

【学識経験者の意見】

・公民館は、地域住民にとって最も身近な学習拠点であるだけでなく住民にとって交流の場でもあります。さまざまな主体との連携・協働のなかで高齢者をはじめとする全ての地域住民が利用でき、学べる場としての地域共生社会の実現に向けて、利用者へのアンケート結果をもとに各地域の取り組み内容を改善しながら感染対策を徹底し、地域の活性化、まちづくりにつなげていってほしいと思います。

・生涯学習の機会や場所が各地域にあることは、目には見えないが生きがいつくりや触れ合いの場と言う意味で大変重要だと思います。それぞれの地域においてのニーズの把握に努めていただき、住民により活用してもらえるような存在であって欲しいと思います。

・公民館は地域住民にとって身近な公共施設です。利用者が使いやすい施設であることが第一です。使いやすい施設運用をお願いします。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑨ 公民館事業推進委託事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	地域で培ってきた経験や知恵を活用し、効率的に地域に密着した世代間交流事業や地域文化伝承事業を実施する。			
取組実績	別紙〈各地区における主な事業内容と予算、決算〉のとおり			
目標達成状況	<p>○事業の成果</p> <p>各地区において新型コロナウイルス感染症の状況等を判断しながら、様々な事業を実施し、時には中止を決断し、対応していただいた。地域の各種団体の代表者で構成された事業推進会により、感染症対策を徹底して、安心して利用出来る公民館としての取り組みを行った。</p>			
金額	R3 予算額	9,217 千円	R3 決算額	3,550 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止をせざるを得ない事業が多く、予算額の半分以下の執行となった。地域に密着した世代間交流事業や地域文化伝承事業は地域の人が支え合い、絆をつなぐことになる。地域の活性化、まちづくりのためには必要だと考える。			

【学識経験者の意見】

・新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業が多かったようだが、地域づくり・絆づくりのため、今後も感染症対策のもと安心して利用できるよう地域住民のニーズに応じた社会教育の活性化を目指していただきたいと思います。

・先般の状況により活動の制限や中止が余儀なくされていますが、活動ができなくても良い部分は見直し、利用者の固定化及び高齢化に対する課題解決に向けての方向性を各地域により定めて解決に取り組んでいただきたいと思います。

・昔は、お寺や隣組などが地域住民の交流場所でしたが、最近はそうした交流場所がなくなりました。それにかわる場所として、公民館の役割があると思います。特に世代間交流はなかなか難しいですので、公共施設である公民館の役割は重要だと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑩ 公民館運営審議会委員委嘱	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	公民館運営審議会委員の委嘱を行い、地域の自主性及び自立性の向上を図る。			
取組実績	公民館等 28 施設に運営審議会を設置し、各施設における事業の企画や運営について審議を行った。			
目標達成状況	新型コロナウイルス感染症の影響により、運営審議会はほとんどが書面開催であったが、委員の委嘱は滞りなく行われた。			
金額	R3 予算額	3,500 千円	R3 決算額	1,662 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	委員の固定化や女性登用率の低迷が懸案となっているため、多様な視点からの意見を審議会に反映できる人選となるよう、今後も調整に配慮していく必要がある。			

【学識経験者の意見】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で運営委員会の多くが書面開催であったとのことでしたが、滞りなく運営できたことに感謝いたします。地域自らが特色をもった運営となるよう、女性の登用をはじめとした運営委員会の在り方の検討も行われるようお願いしております。
- ・ 審議委員に関する課題は大方の公民館に該当する懸念事項かと思われます。委員の循環が少しでも活性化されるような公民館毎の方針が必要だと考えます。
- ・ 公民館の運営は、地域住民の自主的な運営が第一だと思います。委員の確保は大変だと思いますが、頑張ってください。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	① 図書館管理運営事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	図書館資料の充実や情報発信により市民サービスの向上を図り、今治市の「知の拠点」として充実した図書館運営を行う。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週 1 回「選書会」を開催し、市立図書館（指定管理者）の司書と教育委員会の司書が協働して市立図書館で所蔵すべき資料の選定・購入・整備を行っている。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、ワクチン接種前時期の臨時休館含め一部サービスやイベントの制限しながらも、外出制限に伴う来館機会の減少の対策として、一度に利用できる資料貸出点数・期間を一時的に増やし図書館サービス継続に努め、また読み聞かせボランティアのグループ、地域の大学と協力しながら定期的読み聞かせ会、お楽しみ会等についても中止期間を設けながら継続。大三島図書館では、近隣小学校への訪問読み聞かせ会も定期的実施することで、子どもたちが図書館に親しみをもって利用できるきっかけづくりとなると同時に、ボランティア等地域とのつながりにもなった。 ・図書館が運営するホームページからは、図書館システムで整備する情報から資料検索や予約受付サービスの提供に加え、令和 3 年 8 月から Web 上での貸出期間延長受付サービスを開始した。図書館の蔵書情報ばかりでなく、電子図書館及び音楽情報配信サービス、平成 23 年 11 月から継続する「タオルびと」プロジェクトでは今治のタオル産業発展に寄与した人々を記録、図書館ホームページで毎月発信、令和 3 年 3 月からは貴重な地域資料である「国富叢書」の翻刻・電子データを開始する等、非来館の利用者にも広く情報を発信している。 <p style="text-align: center;">(利用統計数値等は別紙のとおり)</p>			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館等サービスの制限を必要とする状況もあったが、感染症対策を徹底し事業の継続に取り組んだ。 ・市立図書館の所蔵する資料が充実し、図書館利用者のニーズ及び利便性向上に寄与した。図書館システムの運用により、図書館ホームページからの資料検索や予約サービス等の提供を始めとする利用者の利便性に寄与した。 ・指定管理者事業による電子図書館及び音楽情報配信サービス運用、地域資料のデジタル化により、非来館での利用者サービスと今治市地域資料の発信が実現している。 			
金額	R3 予算額	258,350 千円	R3 決算額	254,608 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・利用を休止する旧来の利用者の再来館、または新規利用者の来館へのきっかけを作り、新型コロナウイルスで減じた利用の回復を長期的に対策する。 ・電子図書館等非来館サービスの拡充について検証を進める。 			

【学識経験者の意見】

・図書館は市民の学習に必要な図書や様々な情報の収集・提供・整理を行う身近な社会教育施設です。コロナ禍においても感染対策のもと、図書館を身近に感じ利用しやすい場となるようさまざまな取り組みが行われていることがわかりました。市民の多様な学習活動を支える場となるよう、また、地域の実情に応じた幅広い活動と自律的な学びの支援、地域を支える情報の拠点となるよう今後も期待します。

・新型コロナウイルス感染症の影響により生活様式の変化もあってか、概ね利用者数が減少しています。短期的に利用者数の著しい回復は厳しい状況かと思われませんが、時代に則した対策を行っていただきたいと思います。

・コロナ禍における、電子化による利用者促進対策は良いと思いますが、図書館は紙ベースが基本だと思います。データに偏りすぎると、システムトラブル時の対応をどうするかが問題になってきます。紙をベースにデータの良いところは利用するというスタンスが必要だと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑫ ブックスタート事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	新生児（生後 4 か月健康相談時）に絵本などのセットを配付し、子供の情操教育の涵養に努める。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の新生児の保護者に、絵本 2 冊と絵本の紹介リスト、子育てに関する情報等が入ったブックスタートパックを手渡し、絵本の「読み聞かせ」の説明、絵本を介して心触れ合うひとときを持つきっかけをつくった。 ・今治市に生まれた新生児に対し、参加率の高い 4 か月児健康相談時にブックスタートパックを配付することで、図書館を普段使わない層を含め広く平等に周知する機会とし、併せて今後の図書館の利用案内も行った。 <p>【令和 3 年度・パック選定絵本】</p> <p>『ひよこ』 中川ひろたか ぶん 平田 利之 え 金の星社</p> <p>『あかちゃんにここにこ』 いしかわこうじ 作・絵 ポプラ社</p>			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 802 人の新生児（全健康相談対象者数の 98.3%）にブックスタートパックを配付することができ、親子が心の触れ合うきっかけづくりが図られた。また、絵本の紹介リストの配布、図書館で実施している「読み聞かせ会」の周知など子どもたちが継続的に本に触れるきっかけづくりもできた。 ・ 1 歳 6 か月児健診時にアンケートを実施し、ブックスタートパックの内容については、満足 64.5%、普通 26.9%、回答なし 8.7%、親子が触れ合うきっかけになったかについては、きっかけになったとの回答が 84.8%になるなど、概ね良好な結果であった。 			
金額	R3 予算額	2,045 千円	R3 決算額	1,362 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	ブックスタートのアンケート実施を継続し、その結果をフィードバックすることで、より効果的な事業となるよう努める。			

【学識経験者の意見】

・読書は人生を豊かにするだけでなく、子どもにとっては言葉を学び、感性を豊かにし表現力を高めていくことができるものです。それを「ブックスタートパック」として絵本を通した親子のふれあいのきっかけづくりとなり、また、満足との回答が、昨年の62.4%から64.5%と上昇したことからも、意味のある活動であると考えます。このブックスタートを機に子どもと本とのつながり、子どもの豊かな育ちを支えていってほしいと思います。

・1歳6か月児健診時のアンケートの結果で64.5%が「満足」と回答され、「普通」と合わせると90%を超えている結果から非常に良好な事業だと思います。また、親子の触れ合うきっかけ作りや小さい頃からの本とのつながりを持たせるために引き続きの活動に大いに期待します。

・大変良い事業だと思います。決算額が予算額を大きく下回っているのは、コロナ禍によるものでしょうか。あるいは健康相談者が予定より少なかったからでしょうか。相談者が少なかったのであれば、そここのところの対策も必要ではないでしょうか。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑬ 家庭教育支援事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	保護者が家庭教育について学ぶための講座に対し講師等謝礼金を負担することで、家庭教育を支援する。			
取組実績	子育て学習講座として申請のあった 10 校の講師に対し、謝礼金の支払いを行った。 また、PTA 家庭教育学級として申請のあった 12 校の講師に対し、謝礼金の支払いを行った。			
目標達成状況	子育て学習講座や PTA 家庭教育学級を支援することにより、家庭や地域の教育力の向上が図られた。			
金額	R3 予算額	759 千円	R3 決算額	134 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	活動の内容や実施地域に偏りや固定化が懸念される。また新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が縮小傾向となっている。県や先進地の情報等に気を配りつつ、実情に応じた事業展開となるよう検討していく。			

【学識経験者の意見】

・身近な地域で、子育てや家庭教育に関する相談や学ぶ機会があることは、保護者や子どもにとって心強いものです。家庭と地域をつなぐ場として、さまざまな専門家がチームを構成し、多くの地域で行われるようお願いしております。

・実施するか否かは各PTAの熱量により異なると思いますが、当事業の内容を各PTAの家庭教育学級の担当者まで届ける事と事業案内のタイミングが合えば、さらに実情に応じた効果的な事業展開になると思われます。

・個人主義に重点が置かれ、教育は学校が、あるいは塾がその役割を果たすものと考えている人が多くなり、家庭での教育が疎かになってきているような気がしてなりません。子どもは何より、両親の愛情を感じながら育つものだと思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生100年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑭ 愛護班活動推進事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	地域愛護班活動の指導者に謝礼金を支払うことで活動の活性化を図り、地元住民との交流による子どもたちの健全育成を推進する。			
取組実績	各地域で行われている愛護班活動の指導者に対する謝礼金や、活動における研修会等への参加に係る旅費を助成した。			
目標達成状況	各地域愛護班活動等を支援することにより、家庭や地域の教育力の向上が図られた。			
金額	R3 予算額	1,132 千円	R3 決算額	334 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	少子化等の影響により、各地域の活動における人員の減少等が懸案となっている。県内他市の情報等に気を配りつつ、地域の実情に応じた事業展開となるよう検討していく。			

【学識経験者の意見】

・地域のつながりが希薄化するなか、子どもたちを地域で見守り育てる地域愛護は活動の重要性はますますばかりです。地域社会の変化を見据えつつ、地域をあげた人材育成・地域ぐるみの活動の推進の後押しをお願いします。

・愛護班活動に関して、地域ごとに実在の有無があり少子化による人員の減少が課題ですが、新型コロナウイルス感染症を機に地域の実情や必要性を協議し、目的が類似している組織や団体との統合などのその時代に則したあり方を模索すべき時かと思います。

・子どもたちは、地域住民が見守る中で健全に育つものだと思います。そして、核家族で、他に子育てを頼れなく、疲れはて、悩んでいる人が増えているように聞きます。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑮ 婦人教育支援事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	婦人学級の婦人教育講座に対し講師謝礼金を負担することで、快適で住みよい地域社会や明るい家庭づくりを支援する。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人学級 申請のあった 12 地区の婦人学級の指導者に対し、謝礼金の助成を行った。 ・地域ふれあい推進事業 地域と子どものふれあい推進及びふるさと家庭料理普及推進を目指し、11 地区の婦人会に委託し、料理教室や、島四国巡りなど地域の実情に合った内容で各地区 1 年間に 4 回ほど実施された。 			
目標達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・婦人学級を支援することにより、家庭や地域の教育力の向上が図られた。 ・婦人学級、地域ふれあい推進事業どちらも新型コロナウイルス感染症の影響により開設数や参加人数は減少したが、感染症対策を徹底しながら事業実施や支援を行うことで社会教育活動の推進につなげた。 			
金額	R3 予算額	5,705 千円	R3 決算額	2,251 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	会員の高齢化に伴い、指導者・参加者の減少が懸案となっている。また新型コロナウイルス感染症の影響などにより、従来実施されてきた活動の縮小も見られる。地域の実情に応じた事業展開となるよう検討していく必要がある。			

【学識経験者の意見】

- ・生涯にわたる学習機会を充実させ、社会参画の推進を図っていくことは大切です。コロナ禍における活動の在り方を検討し、地域の活性化につなげていってほしいと思います。
- ・現時点では地域の実情に応じた支援が必要と考えますが、高齢化に伴う諸所の懸念事項を考慮すると数年後を見据えての方針が必要ではないかと思われます。
- ・指導者が疲れているように感じます。婦人学級では、指導者にもメリットがあるような取り組みにすれば、指導者も増え、継続していけるのではないのでしょうか。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑩ 放課後子ども教室推進事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	学校や地域と連携しながら放課後子ども教室を開設することで、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			
取組実績	放課後子ども教室を申請のあった大西・宮窪・常盤地区で開設した。大西地区では土曜日と長期休暇中に学習教室や各種体験活動を、宮窪・常盤地区では長期休暇時に宿題教室を実施した。			
目標達成状況	子どもたちがその地域の住民と関わる時間を設けることで、子どもたちの情操教育推進を図ることができた。			
金額	R3 予算額	2,081 千円	R3 決算額	1,536 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	放課後児童クラブや他の制度との兼ね合いなど、今後の方針決定が難しい。先進地の情報等に気を配りつつ、これからの事業展開を検討していく。			

【学識経験者の意見】

- ・子どもが地域のなかで安全で安心して育まれていけるよう環境を整えていくことは重要です。保護者および地域の協力者のもと、ニーズに応じて多様な活動が実施されるようよろしくお願いします。
- ・今の時代のニーズに則した事業であり、課題に関しては個別にそれぞれが理解し合えるよう調整していただきたいと思います。
- ・共働き世帯が増え、放課後の子どもたちの安全や健全育成の確保は、社会全体の問題になっていると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑰ 人権教育事業	担当課	生涯学習課	
事業の概要 (目標)	誰もが人権を尊重される社会を目指し、公民館等人権教育講座を実施することで人権・同和教育を推進する。			
取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各公民館等で人権教育講座を 21 回実施した。 ・地域の人権・同和教育を担うリーダーを養成するため、公民館長人権・同和教育研修会を 4 回実施した。 			
目標達成状況	市民の人権に関する学習機会が充実し、地域に応じた人権教育が推進された。			
金額	R3 予算額	3,150 千円	R3 決算額	1,365 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	コロナ差別やインターネット上の人権侵害、LGBTQ など、新たな人権課題に対応した人権・同和教育を推進していく必要がある。			

【学識経験者の意見】

・全ての人々の人権が尊重され、相互に理解し合える社会の実現のため、学校教育・社会教育・あらゆる場での学習機会が充実していくことを願っております。

・インターネット上での人権問題は、目に見えない状況でいつでも誰でも起こりうる問題です。学習機会を増やす為には時間に限度もありますので、自然と意識が高くなるような日頃の意識の向上に繋がる環境があれば良いと思います。

・人権は、生活のあらゆる面に現れます。学校では、いろいろと学習の機会があるようですが、社会に出ると、振り返りの学習の機会が少なくなっていると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑱ 愛・野球博開催費	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	<p>「2022 年プロ野球オールスターゲーム」の本県開催により野球人口拡大、競技力向上、交流人口の拡大による</p> <p>地域活性化等を図るほか、野球普及事業に継続して取り組むことで、愛・野球博のレガシーを築きあげるとともに、野球文化の永続的な定着を図る。</p>			
取組実績	<p>野球王国・愛媛県における野球を切り口とした地域振興を図るため、2021 年 7 月 15 日にフレッシュオールスターゲーム 2021 を坊ちゃん球場で開催したほか、市内においても 2021 年 12 月 25 日に市営中央体育館でパ・リーグ 6 球団マスコットとやきゅうであそぼう！～えひめチャレンジキッズパーク 2021in 今治を開催し、マイナビオールスターゲーム 2022 に向けた機運を醸成することができた。</p> <p>また、2022 年プロ野球オールスターゲーム機運助成事業補助金を活用し、市内の野球場に集球ネットやミスト扇風機を整備することで、施設利用者の環境改善に努めることができた。</p>			
目標達成状況	愛・野球博実行委員会と連携しながら、マイナビオールスターゲーム 2022 に向けた機運を醸成することができた。			
金額	R3 予算額	600 千円	R3 決算額	600 千円
自己評価	<input checked="" type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	マイナビオールスターゲーム 2022 の開催を契機としたレガシーを継承するとともに、野球を切り口としたイベントの実施や県内チームや県外チームとの交流による誘客促進など、地域の賑わい創出を目的とした取組を推進することで、競技人口の増加に努めてまいりたい。			

【学識経験者の意見】

・「2022年プロ野球オールスターゲーム」の開催は、野球の楽しさを広げ、「野球をする」スポーツ人口を増やすことにも貢献していきます。また、スポーツの意義や内面的・外在的価値を広く伝え、スポーツのもつ文化的特性を高めていきます。開催に向けての準備を引き続きよろしくお願いします。

・野球のできる環境が昔に比べ制限されている中で、関連行事の流れに乗って環境改善や関連イベントを開催することで裾野を広げる事業は有効だと思います。今後、他のスポーツとともに地域の力となっただけで事に期待します。

・愛・野球博を契機として、野球に親しむ競技人口が増えることを期待します。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	⑱ 地域スポーツ振興事業	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	県内のプロスポーツチームと連携の上、トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦や、指導者やスポーツボランティアがスポーツに接する機会を提供し、スポーツを通じた賑わいや交流人口の拡大を図る。			
取組実績	愛媛県プロスポーツ地域振興協議会や中四国 J クラブ関係自治体連絡調整会議と連携の上、県内 4 球団（愛媛 FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、FC今治）が開催するホーム・アウェーゲームにブースを出展することで今治市を PR したり、スタンプラリーや順位予想「atete（アテテ）」を実施したりすることで、地域スポーツの振興を図った。			
目標達成状況	県内の市町が連携して PR イベントや応援イベントに取り組んだことにより、プロスポーツの魅力を市内に発信することに寄与した。			
金額	R3 予算額	3,488 千円	R3 決算額	2,485 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	スポーツのまちづくりにおいて、里山スタジアム周辺のにぎわいづくりなどプロスポーツチームと連携の上、どのように盛り上げていくかを検討していく必要がある。			

【学識経験者の意見】

・スポーツによるまちづくり・地域活性化を目指し、地域の実情に応じて多くの住民が運動・スポーツに興味・関心をもち、習慣化を図れるよう、関係機関と連携しこれからもプロスポーツの魅力を発信して行ってほしいと思います。

・各競技のトップレベルを肌で感じる事や身近に感じる事は、地域のにぎわいにも繋がっていくと思います。先進地域を参考にしながら、今治独自のスポーツによるにぎわいづくりを推進して頂ければと思います。

・プロスポーツ選手の競技を直接目にする事は、競技選手にとって大変刺激になると思います。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	㊸ 東京 2020 オリンピック・パラリンピック機運醸成事業	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	東京 2020 オリンピック聖火リレー及び東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルを市内で開催することにより、両大会の機運醸成を図る。			
取組実績	2021 年 4 月 21 日に広小路から今治城までの 8 区間において東京 2020 オリンピック聖火リレーを開催。また 2021 年 8 月 12 日にみなと交流センター「はーばりー」で東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルを開催した。なお、東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルは、直線に新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染対策のため、規模を縮小して開催した。			
目標達成状況	東京 2020 オリンピック聖火リレー及び東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルを市内で開催することにより、両大会の機運醸成を図ることができた。			
金額	R3 予算額	6,037 千円	R3 決算額	3,663 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・ 改善内容	東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とした健康志向の高まりや地域スポーツの活性化等のレガシーを継承の上、引き続きスポーツ人口の拡大や交流人口の増加に努めてまいりたい。			

【学識経験者の意見】

・新型コロナウイルスの拡大により規模は縮小されましたが、聖火リレー・聖火フェスティバルを市内で開催できるよう準備を進めていったことで、市民がそれぞれ可能な方法での参加を促すことができたのではないと思います。これを機に多くの市民がスポーツに興味・関心を示し、スポーツ人口の拡大を担ったと考えます。

・規模を縮小しての聖火フェスティバルとなりましたが、様々な制限の中、無事終える事ができた事は関係者の皆様や市民にとって後世に残す事ができたという点で良かったと思います

・東京では、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの施設活用の課題として、レガシーの採算性が問題になっています。こういったイベントの後の機運を維持することは地道な取り組みが必要です。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	㊸ 今治シティマラソン	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	今治シティマラソンの開催を通じて、市民の健康増進及び地域の活性化を図る。			
取組実績	感染症対策のため、大会の規模を縮小の上、2021 年 10 月 3 日に市営スポーツパーク 周回コース（1 周約 1.3 km）で、参加対象を小中学生に限って開催した。			
目標達成状況	感染拡大対策のため本来の開催目的である「市民の健康づくりと地域の活性化のため」の開催は、完全には達成できなかったが、小学生 99 人、中学生 14 人、計 113 人が参加し、コロナ禍における健康づくりに努めることができた。			
金額	R3 予算額	1,500 千円	R3 決算額	1,500 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	新型コロナウイルス感染症が引き続き猛威を振るう中で、三密対策や感染対策を講じた上での大会運営が課題である。			

【学識経験者の意見】

- ・感染対策のもと、対象者限定で開催されたことに感謝いたします。コロナ禍での実施の在り方を様々な関係機関と協議しながら検討して行ってほしいと思います。
- ・小中学生に限っての開催でしたが、参加した子ども達にとっては非常に良い思い出になると思います。早く、これまでと同様の開催となる事を願っております。
- ・誰もが参加できるスポーツとして、大変意義があると思います。コロナ禍でその対策が大変でしょうが、続けることが重要です。

事務事業の点検・評価表

重点方針	5 人生 100 年時代を見据えた、生涯学び活躍できる環境の整備			
事業名	② スポーツ大会開催補助金	担当課	スポーツ振興課	
事業の概要 (目標)	市内で行われるスポーツ大会の開催経費の一部を補助金として交付することで、スポーツ振興を通じた地域の活性化を図る。			
取組実績	市内で行われた「第 23 回しまなみ海道ソフトボール大会」、「第 38 回全国シニアソフトボール今治大会」の開催経費の一部を補助金として交付した。			
目標達成状況	市内で行われた中四国大会に準じる規模以上の 2 大会に開催経費の一部を補助金として交付し、大会運営を支援することでスポーツ振興を通じた地域の活性化を図ることができた。			
金額	R3 予算額	1,000 千円	R3 決算額	1,000 千円
自己評価	<input type="checkbox"/>	十分な成果があった	<input checked="" type="checkbox"/>	一定程度の成果があった
	<input type="checkbox"/>	成果が不十分であった	<input type="checkbox"/>	成果があまりみられなかった
今後の課題・改善内容	交付要綱の補助対象となる要件が厳しいため、補助金の交付対象となる団体が限られている。交付要綱の見直しも含めた検討が必要である。			

【学識経験者の意見】

- ・地域スポーツ活動、健康・体力づくりの普及のため、多くの団体が利用できるように各団体と協議しながら進めてほしいと思います。
- ・他の競技でも、中四国大会に準じる規模以上の大会が開催可能な施設や環境が今治にどの程度存在するのか、また実施可能かどうかを検証し、今後積極的に受け入れを推進して頂きたいと思います。
- ・大会にはそれぞれ歴史があり、その中で補助事業になることがあります。補助の趣旨を踏まえて、補助事業の在り方を変えていく必要も出てくると思います。

